

資料集

コロナ流行下で
起きていたこと、起きていること
(2022年9月8日まとめ)

メンタルケア協議会
羽藤 邦利

(資料の項目)

■人口動態統計（速報）より

出生数が急減し、死亡数が増加。少子高齢化が急加速する

■人口動態統計（概数）より

死因別で老衰、認知症、癌死の増加が始まる

■超過死亡数とコロナ死亡数

■コロナ流行下、子どもが重大な影響を被っていた

■家庭で起きていたこと

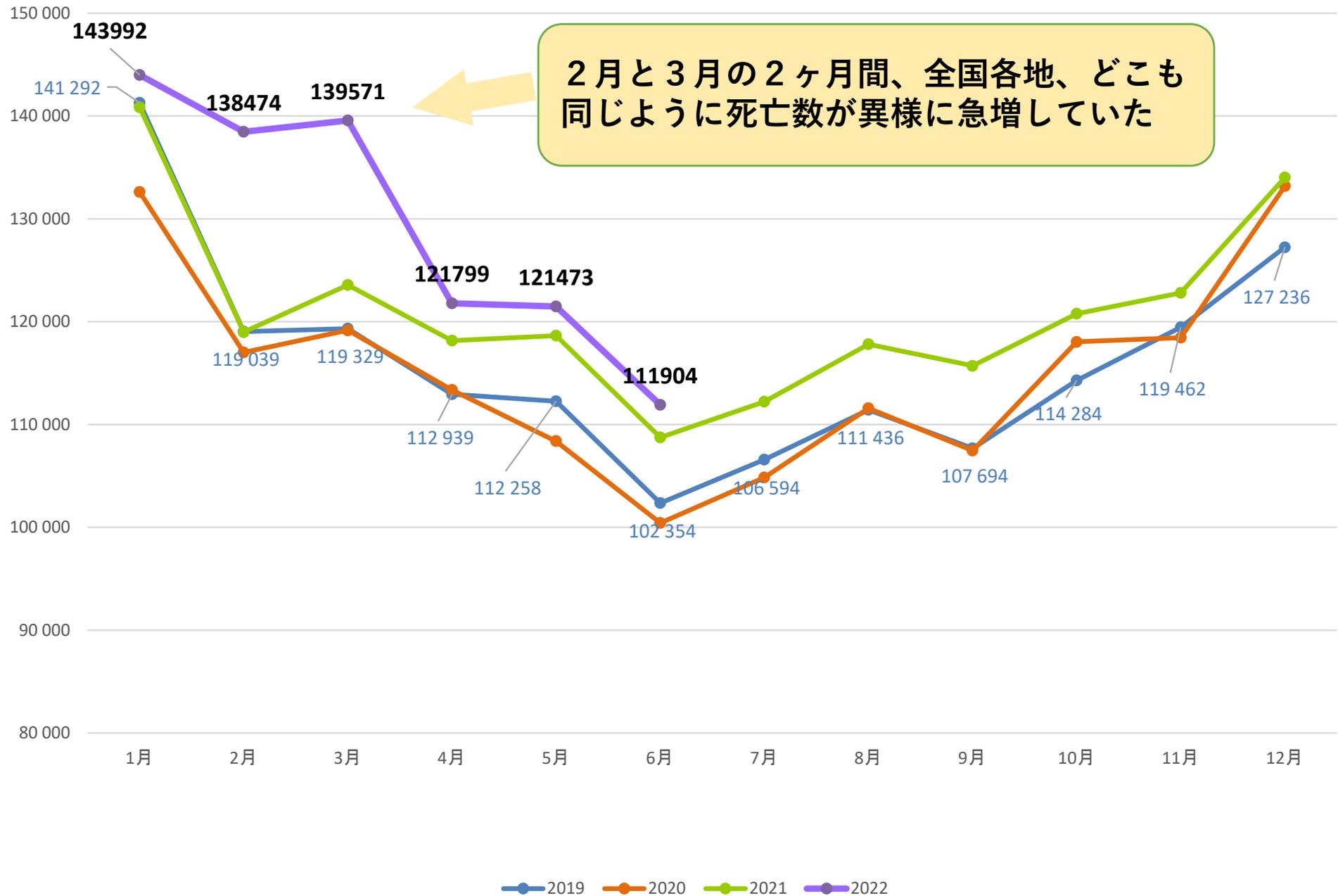
■精神科医療で起きていたこと

人口動態統計（速報）より

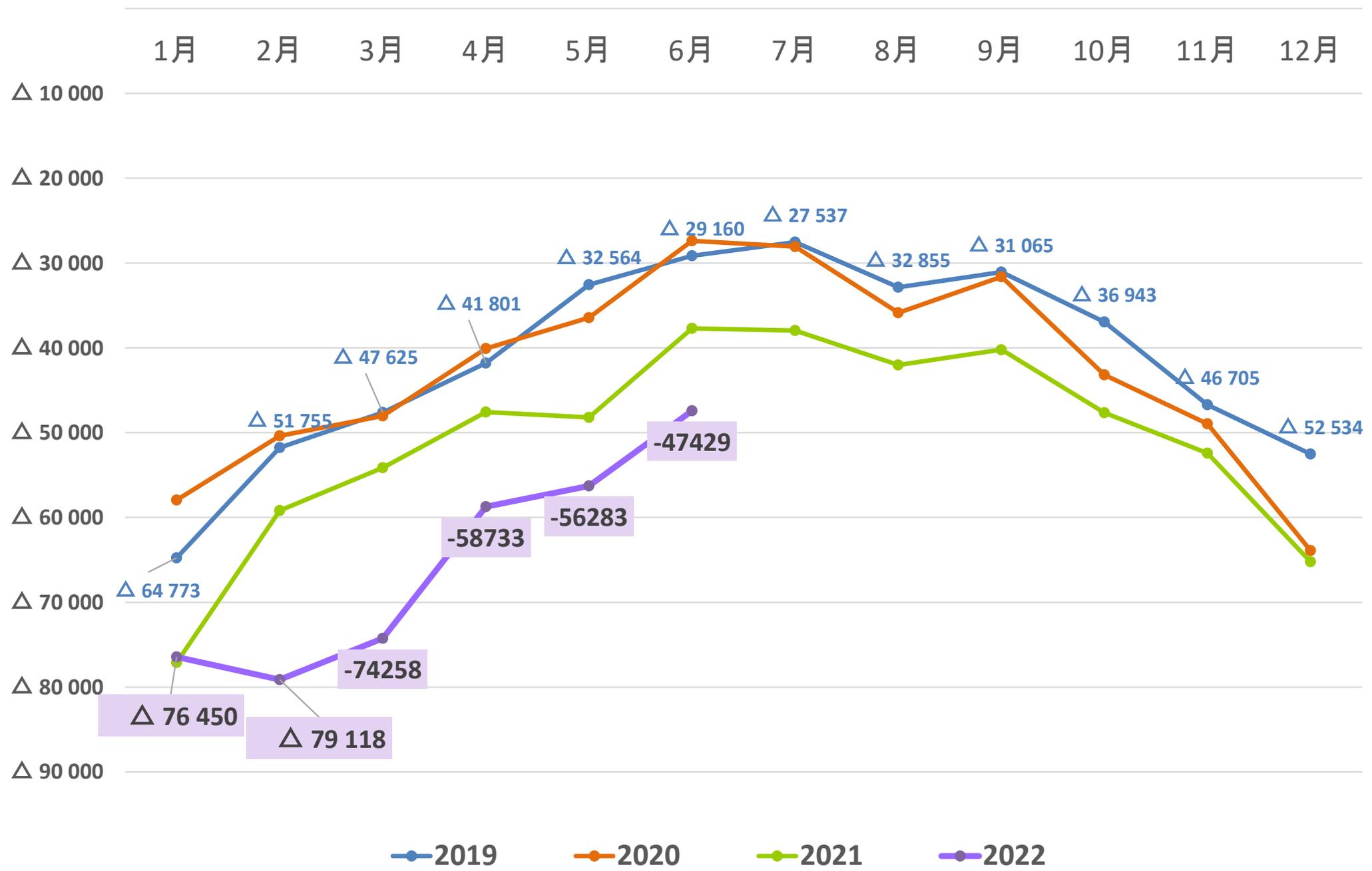
（2019年 2020年 2021年 2022年6月）

出生数、死亡数、婚姻数、離婚数の動向

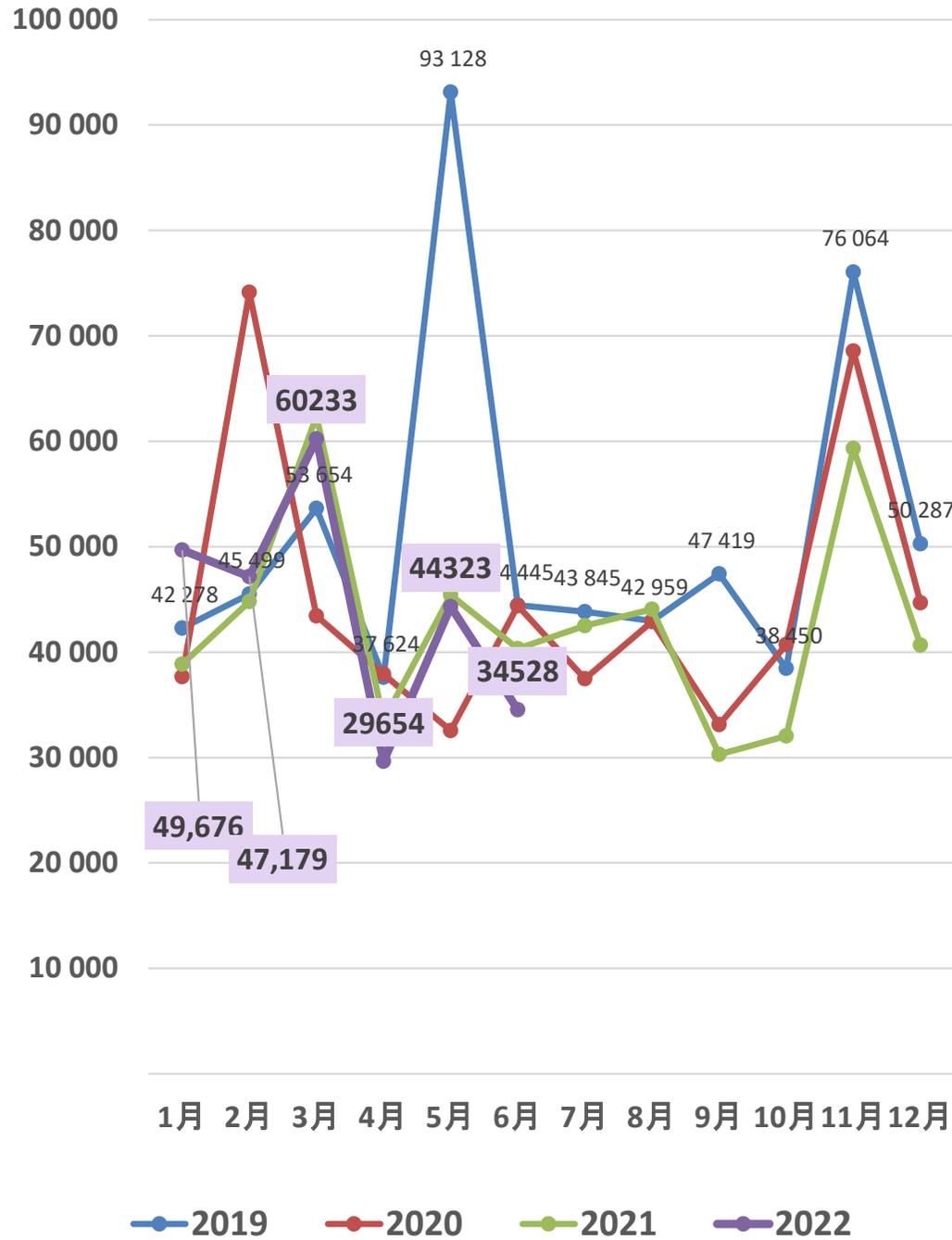
死亡



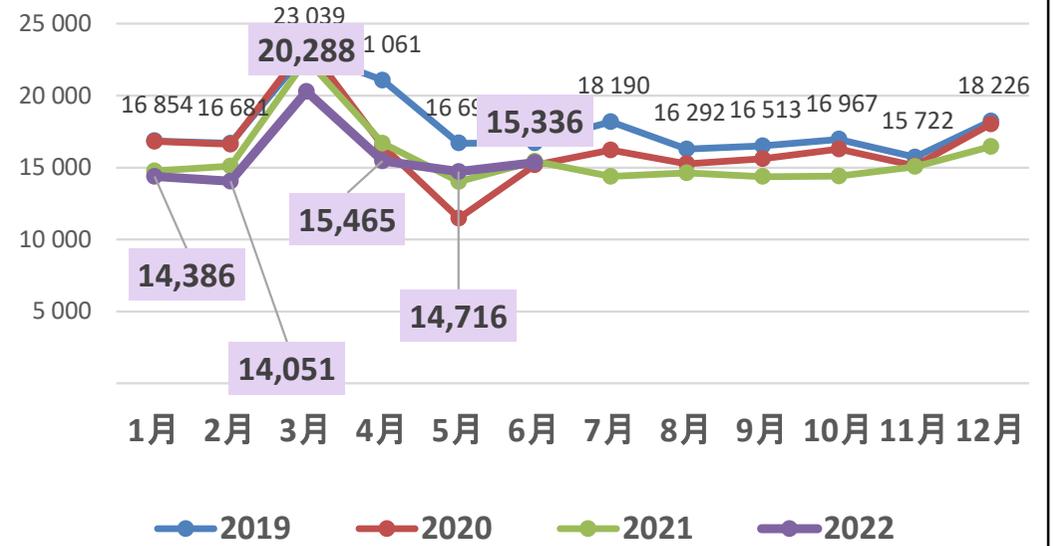
自然増減



婚姻



離婚



人口動態統計月報（速報）から判ること

- 出生数が著しく減少。死亡数が増加。今後、少子高齢化が急加速する
- 少子高齢化の急加速によって、家庭、学校、職場、街が様変わりする。社会保障制度など社会の仕組みを大幅に変えなくてはならなくなる

人口動態統計（概数）より

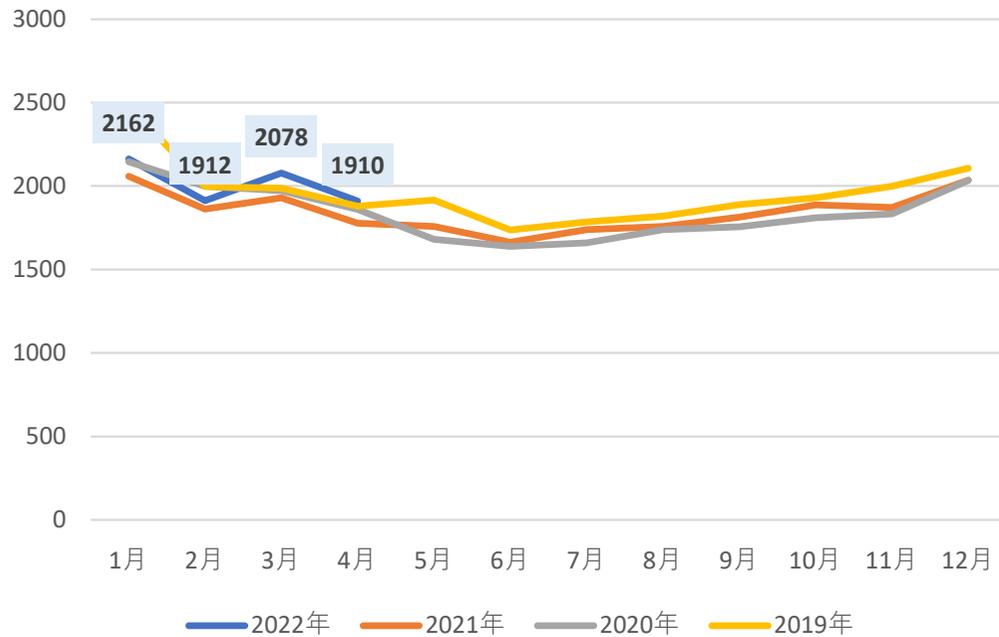
(2019年 2020年 2021年 2022年3月まで)

- 死因別死亡数
- 超過死亡数とコロナ死亡数

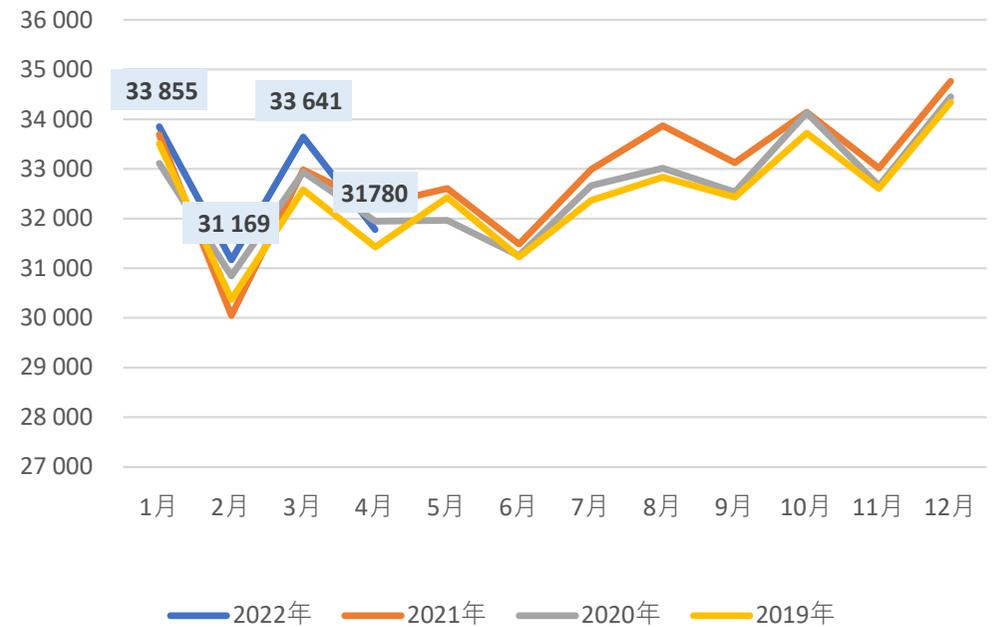
(死因別の月別死亡数の推移)

2019年 2020年 2021年 2022年4月まで

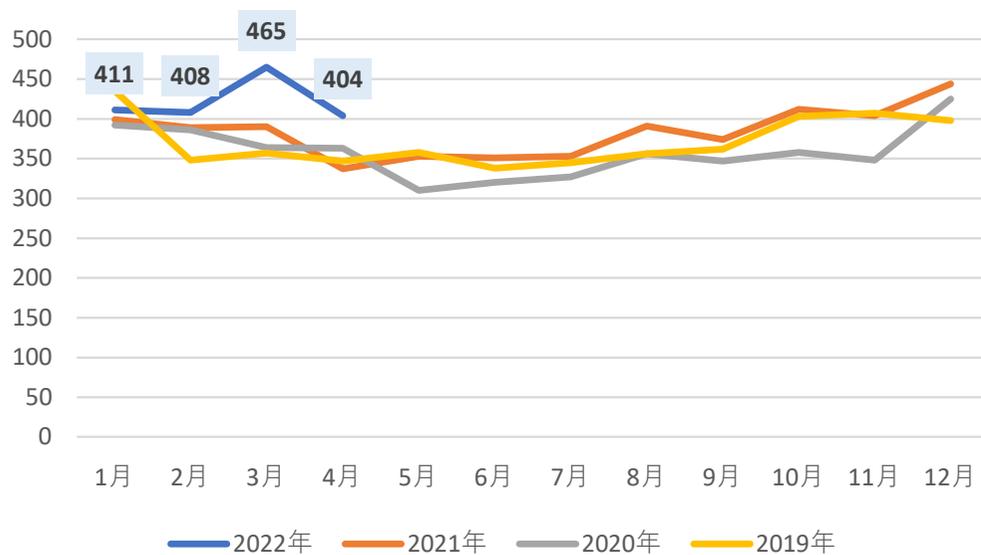
感染症及び寄生虫症



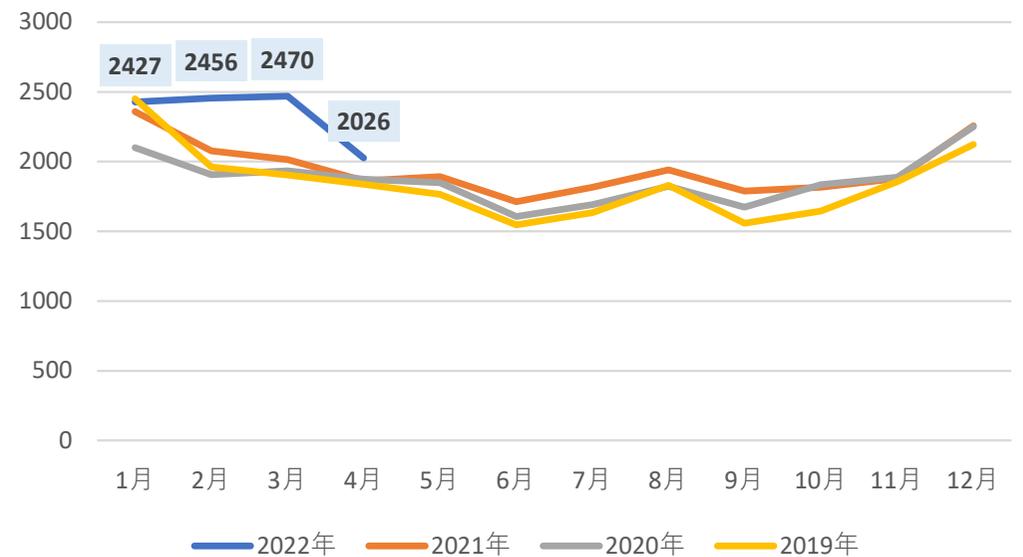
新生物<腫瘍>



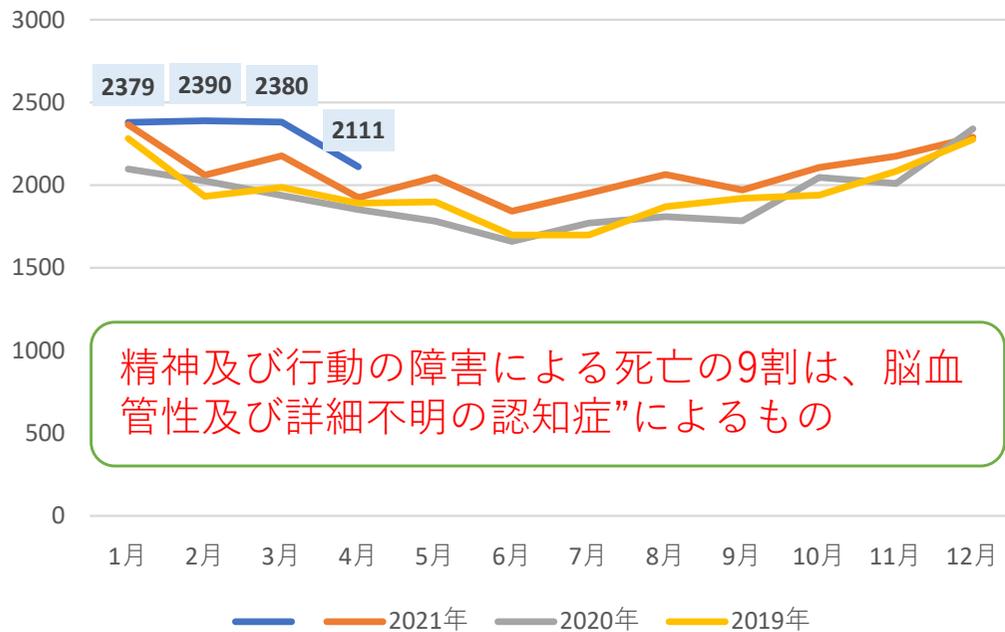
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害



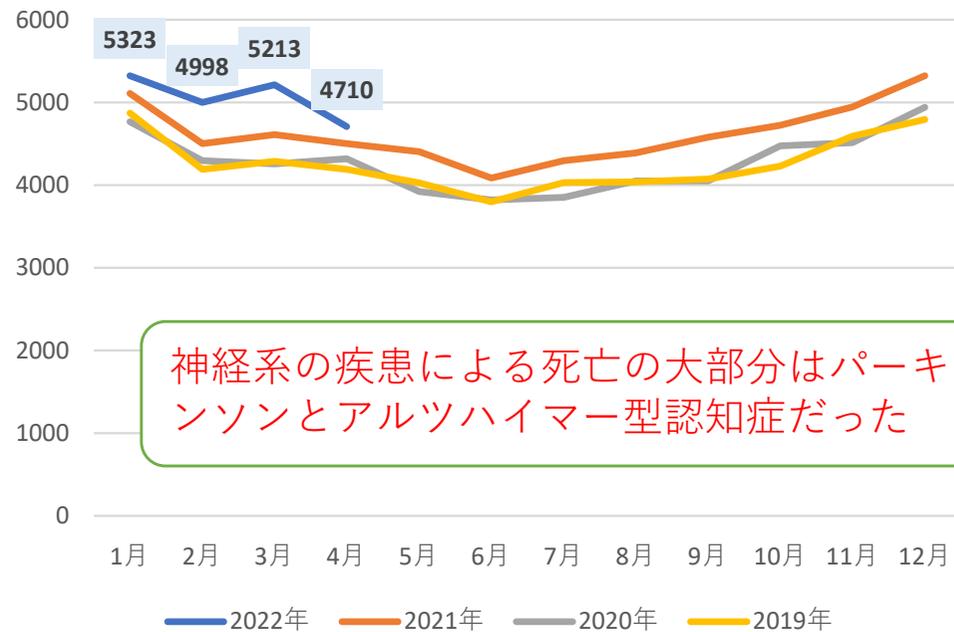
内分泌, 栄養及び代謝疾患



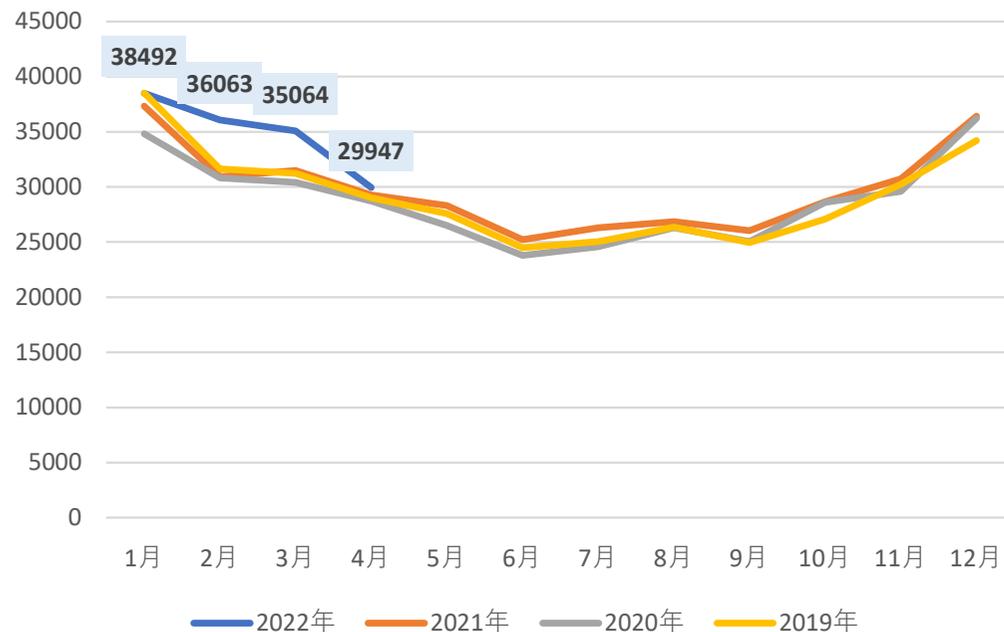
精神および行動の障害



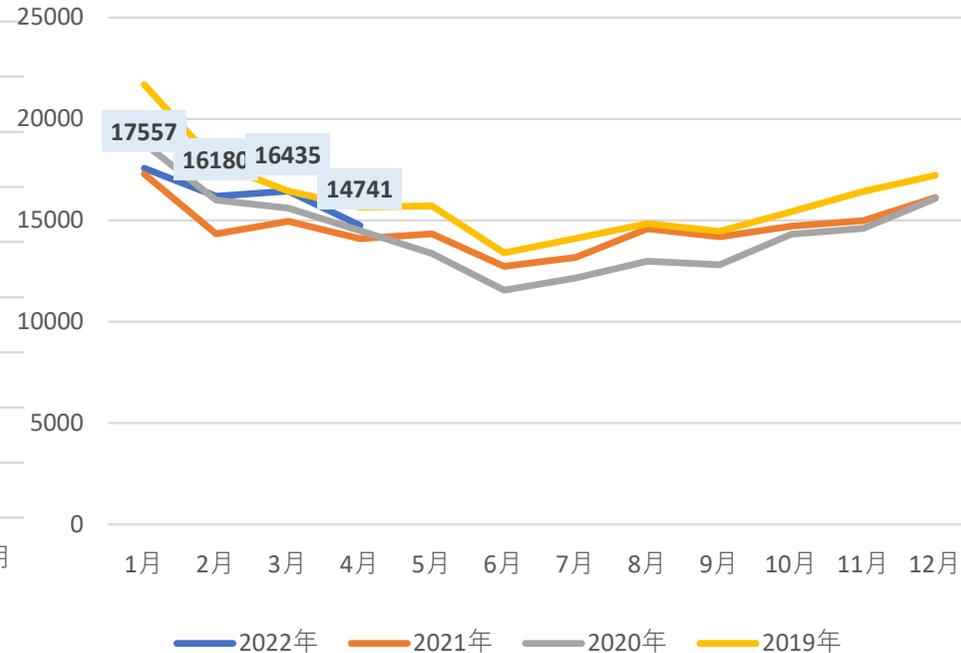
神経系の疾患



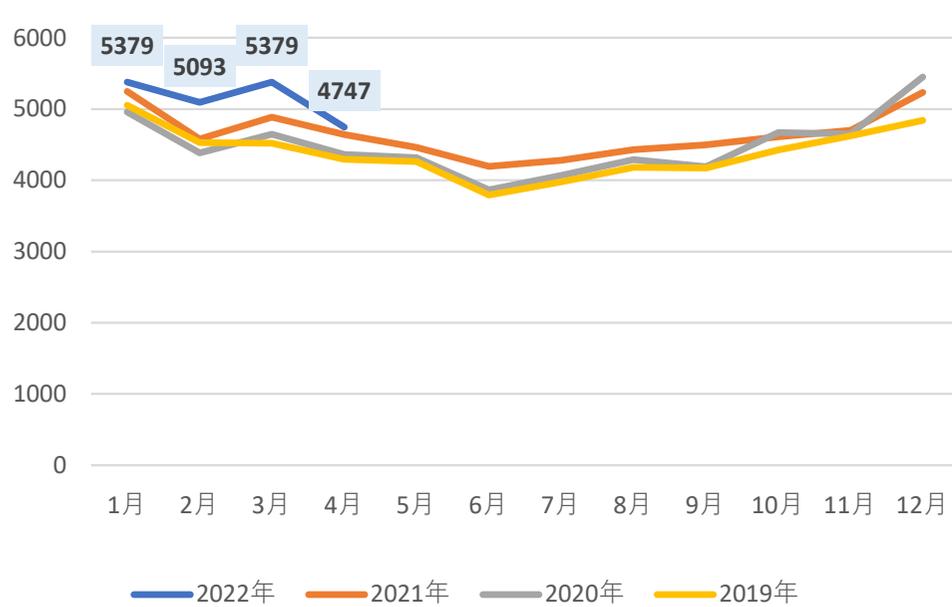
循環器系の疾患



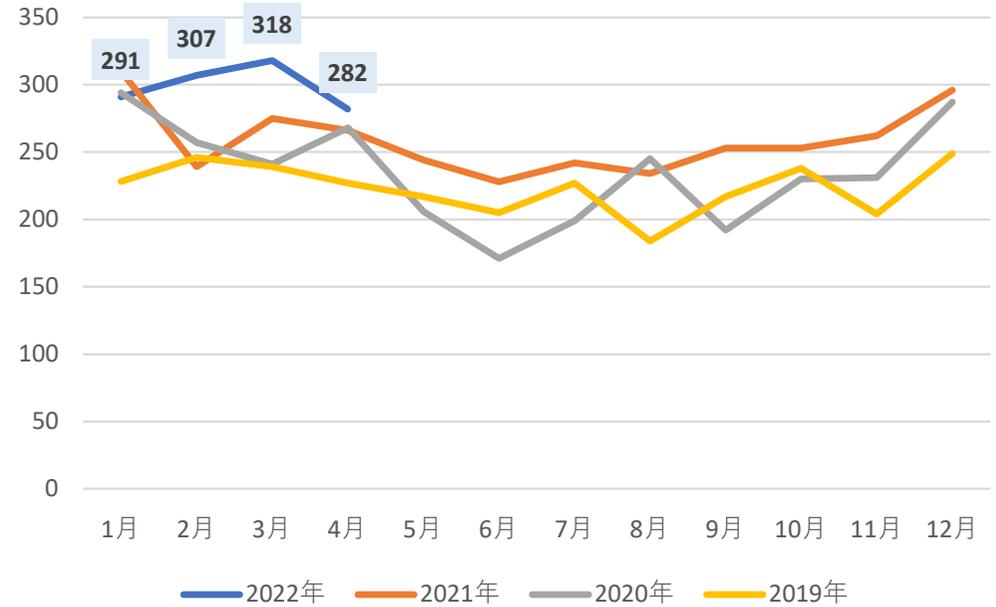
呼吸器系の疾患



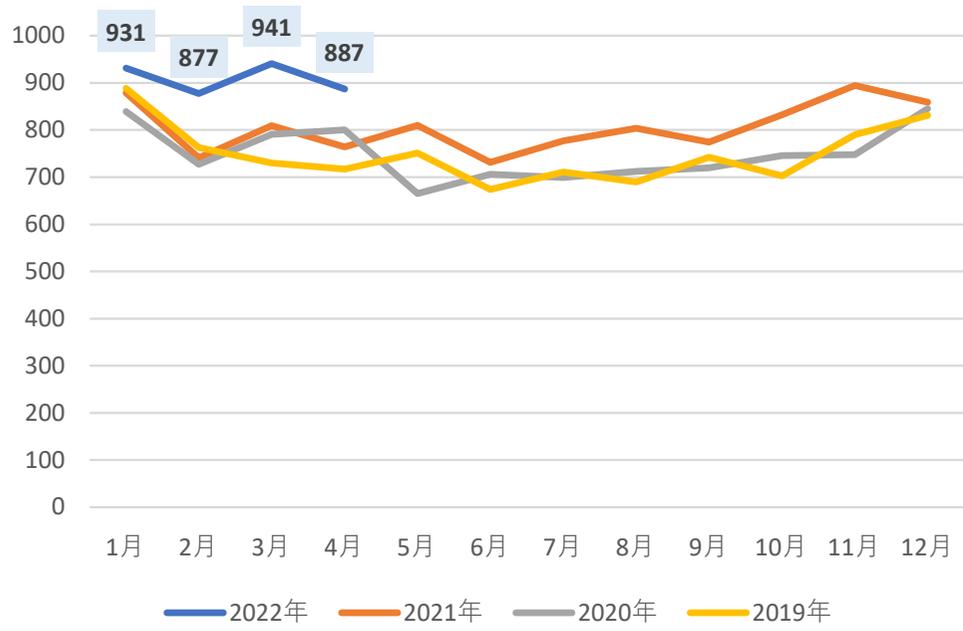
消化器系の疾患



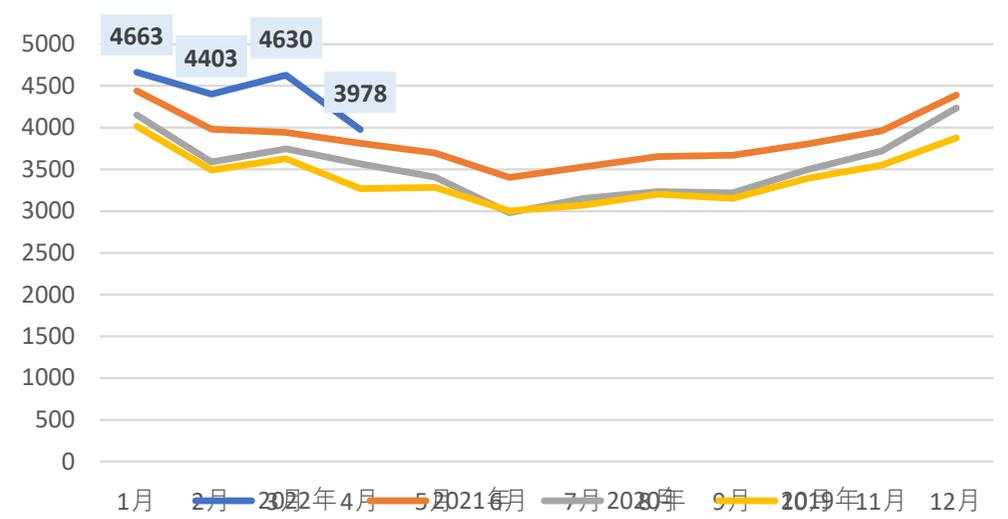
皮膚及び皮下組織の疾患



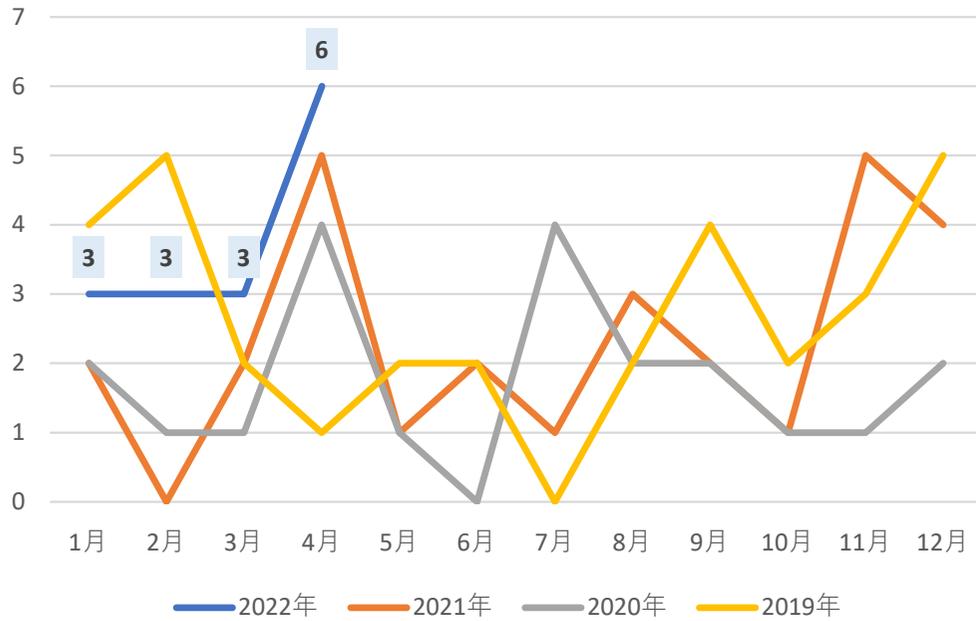
筋骨格系及び結合組織の疾患



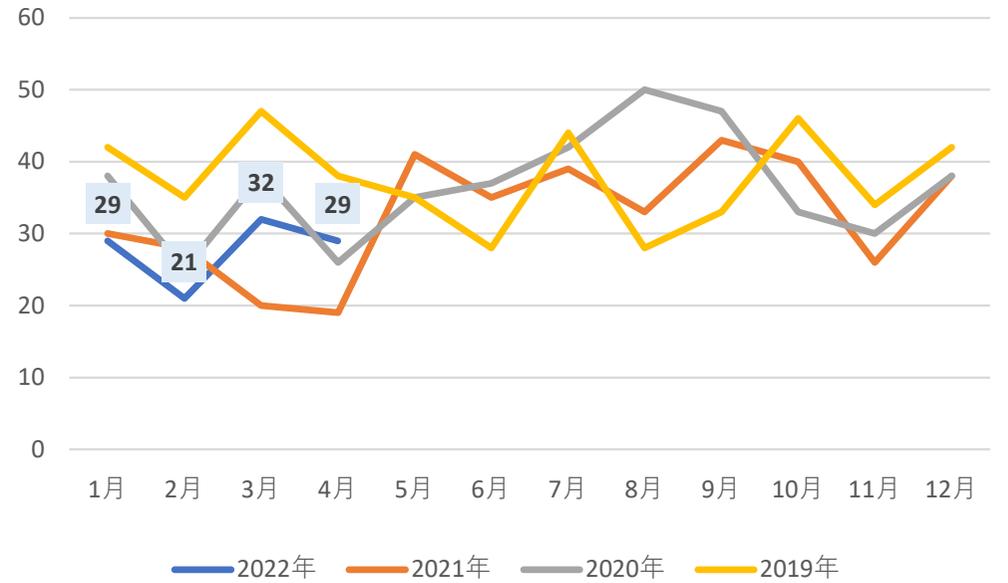
腎尿路生殖器の疾患



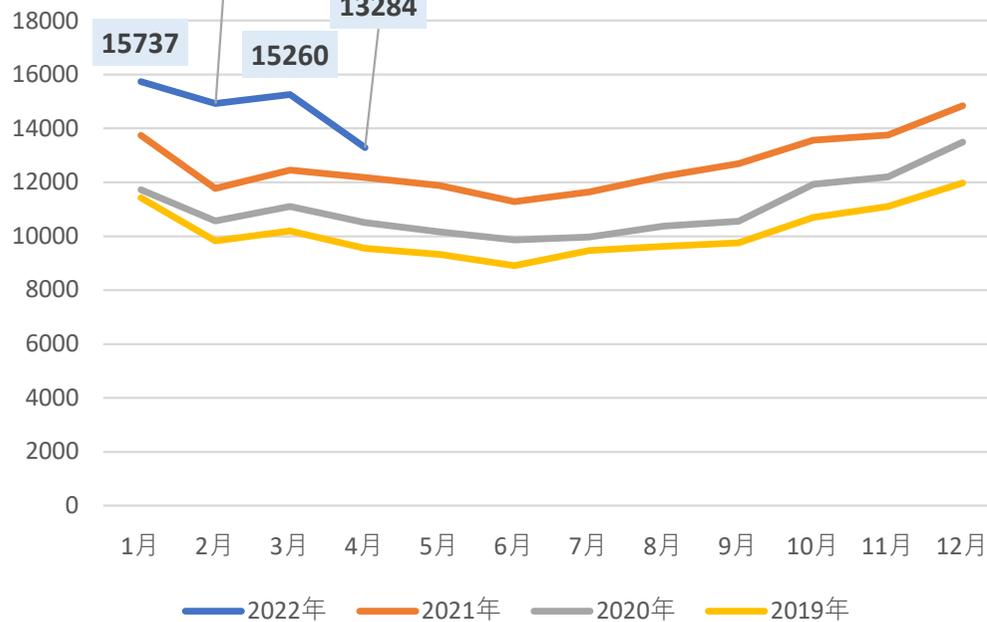
妊娠、分娩及び産じょく



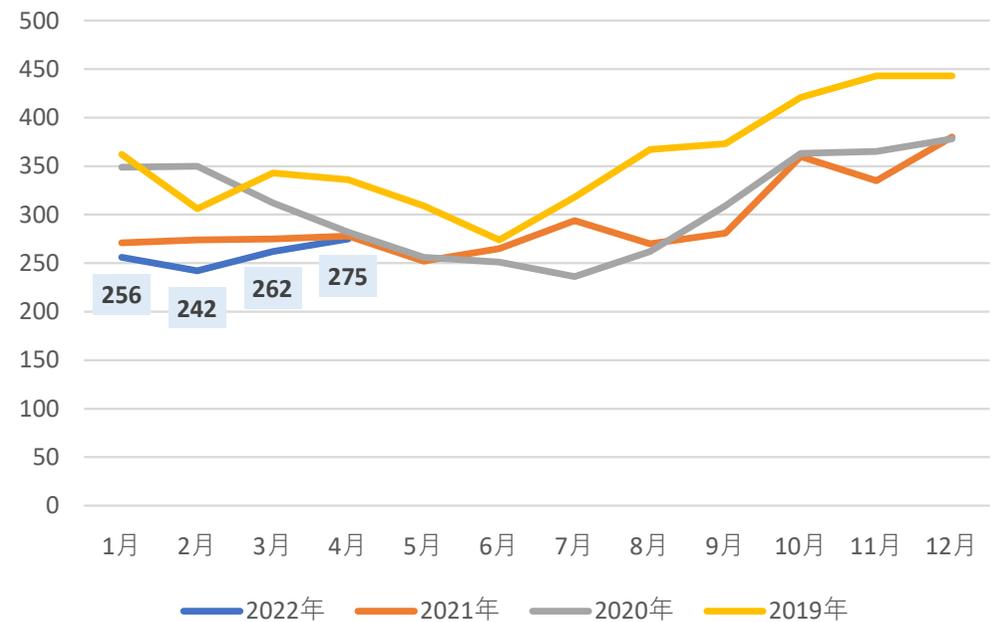
周産期に発生した病態



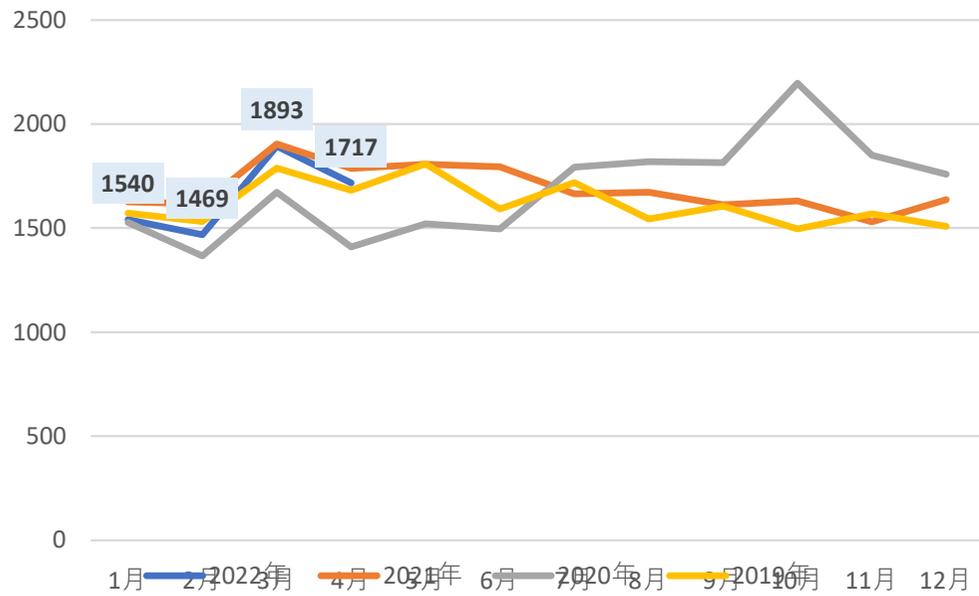
老 衰



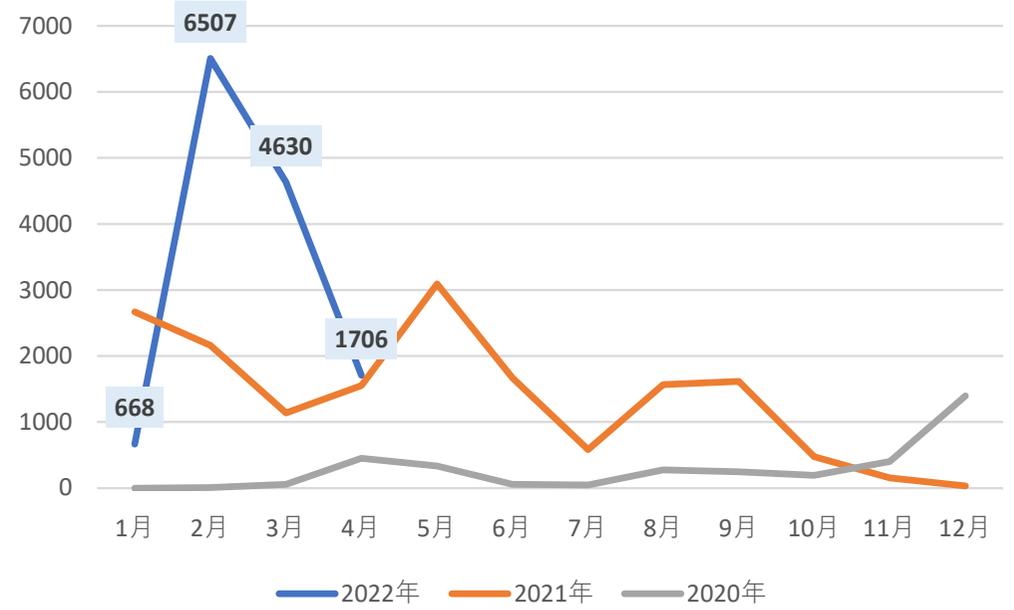
交通事故



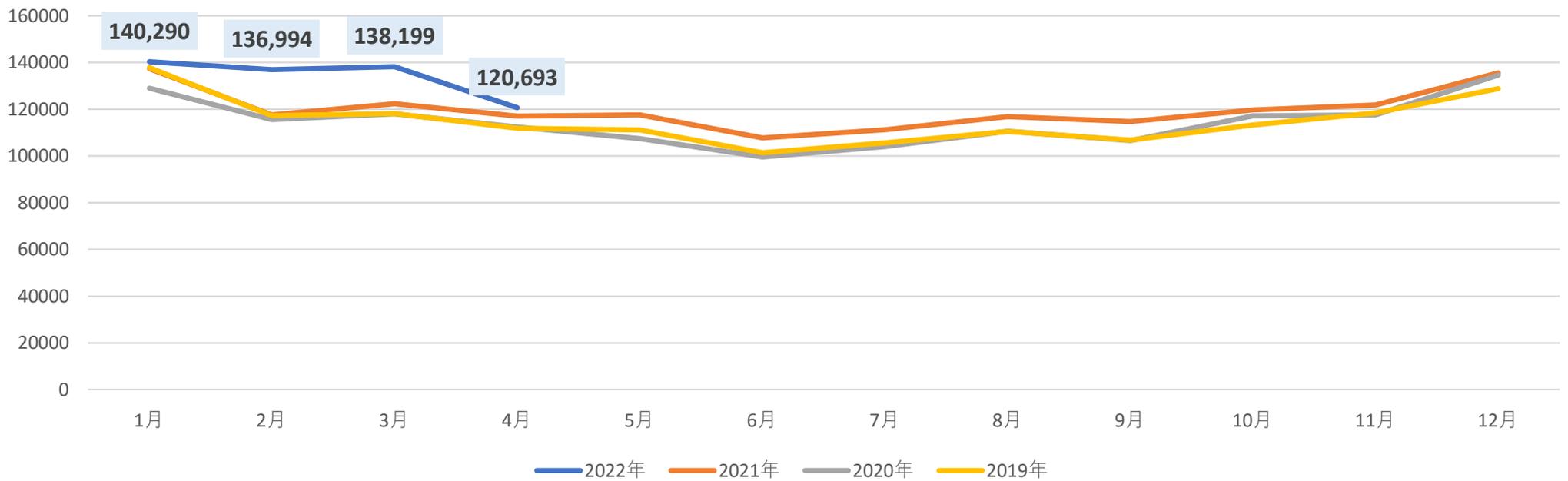
自殺



新型コロナ



総死亡数



死亡数が増えた死因、減った死因

死亡数が急増した死因

- 老衰
- 循環器系の疾患
- 消化器系の疾患
- 神経系の疾患（殆どがアルツハイマー型認知症）
- 腎尿路生殖器の疾患
- 内分泌、栄養及び代謝疾患
- 精神及び行動の障害（殆どが脳血管性認知症）
- 筋骨格及び結合組織の疾患
- 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- 皮膚及び皮下組織の疾患
- 新型コロナ

総死亡数が急増

死亡数が減った死因

- 交通事故

- 殆どの死因で死亡数が増えている
- どの死因にも影響を及ぼす“要因”があったことが示唆される

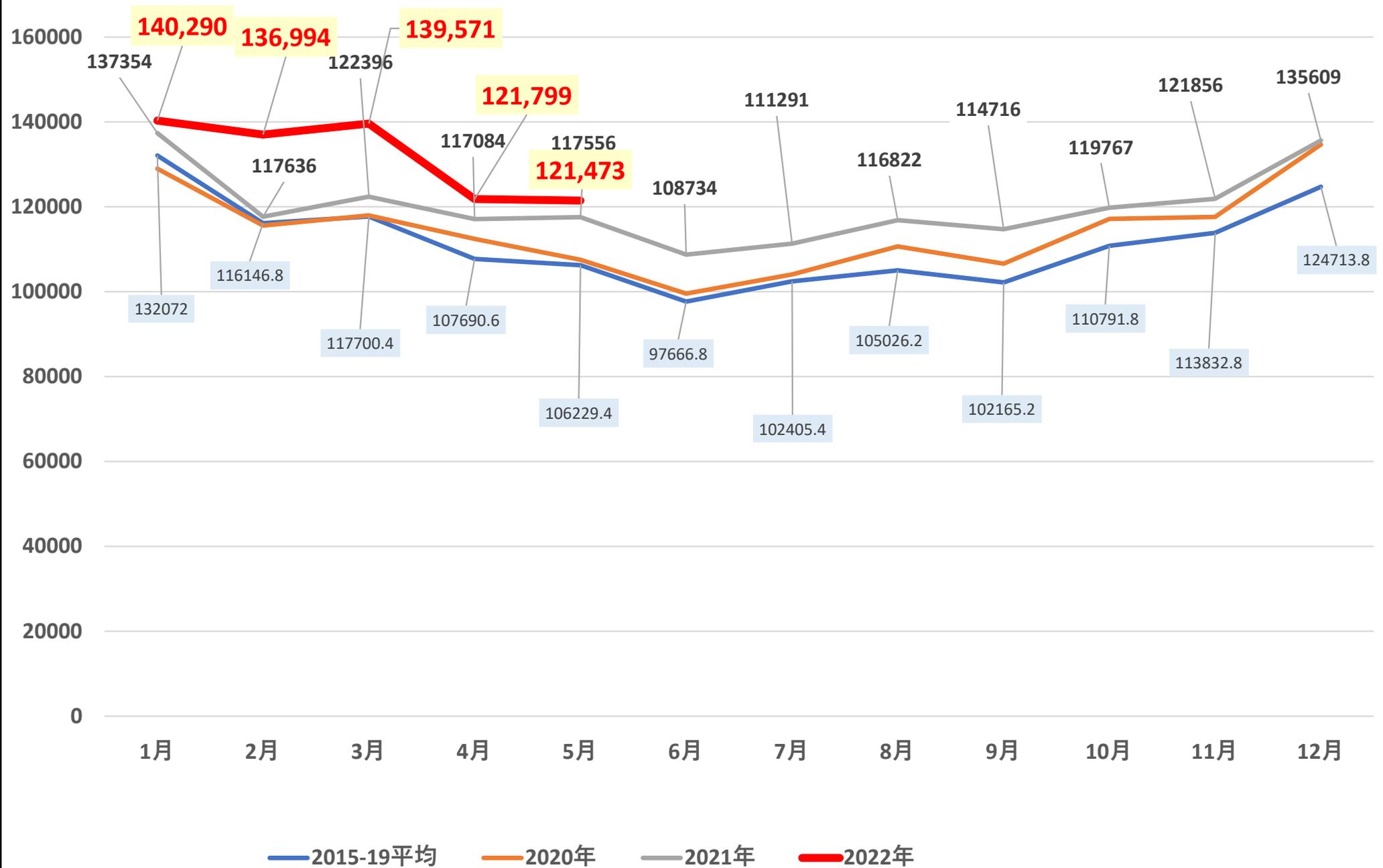
死因別死亡数の著しい増減は 何が影響していたのだろうか

1. コロナ感染症対策による生活変化？
2. 通常医療が円滑に行えなかった影響？
3. ワクチン接種による免疫力低下？
4. コロナ感染が直接・間接に影響した死亡
 - I. コロナ感染による死亡
 - II. コロナ感染で余病悪化
 - III. 隠れコロナで余病悪化

内訳は？
調査分析が必要では

全国の月別死亡数

2015～2019の平均 2020 2021 2022



全国

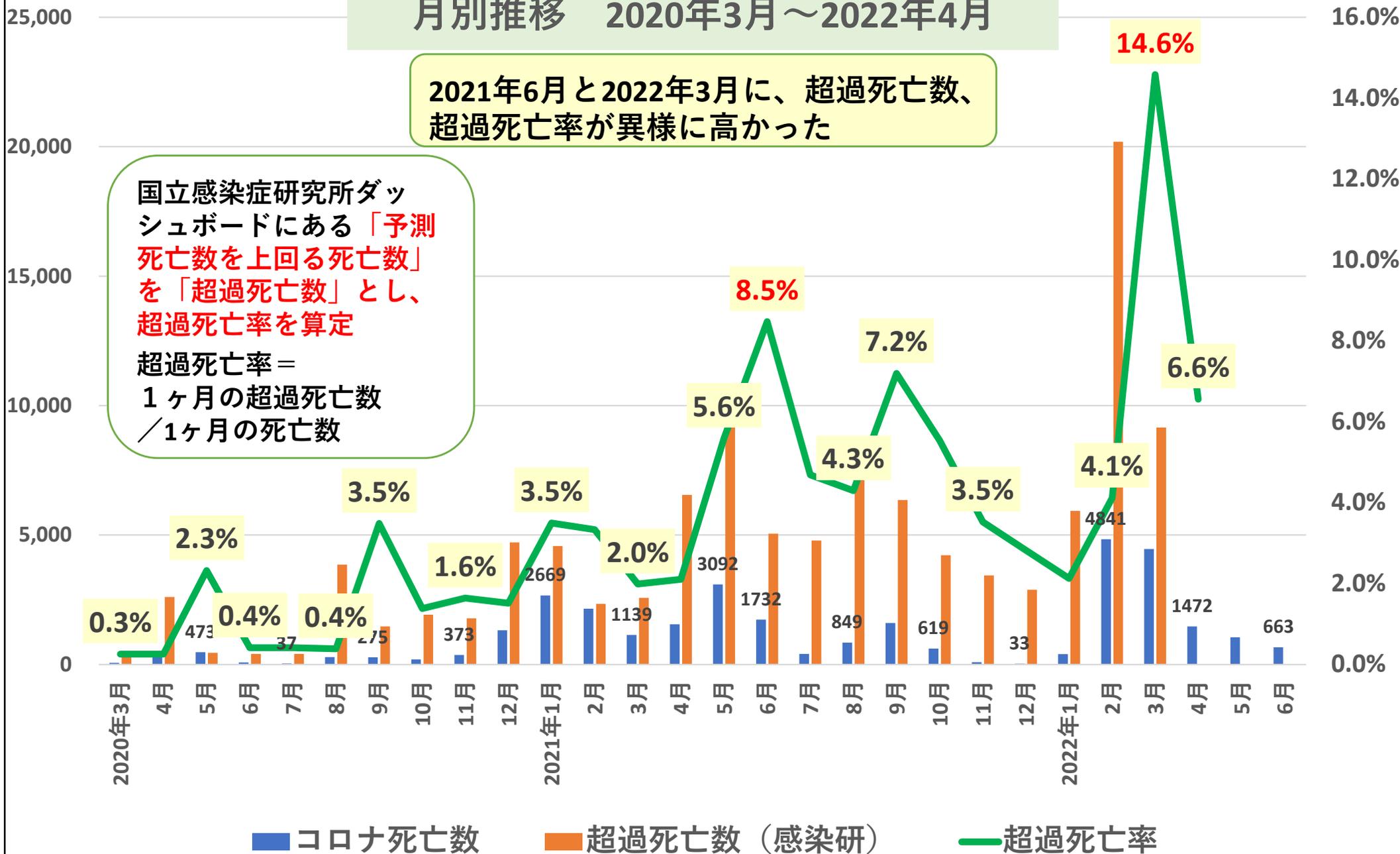
コロナ死亡数 超過死亡数 超過死亡率

月別推移 2020年3月～2022年4月

2021年6月と2022年3月に、超過死亡数、超過死亡率が異様に高かった

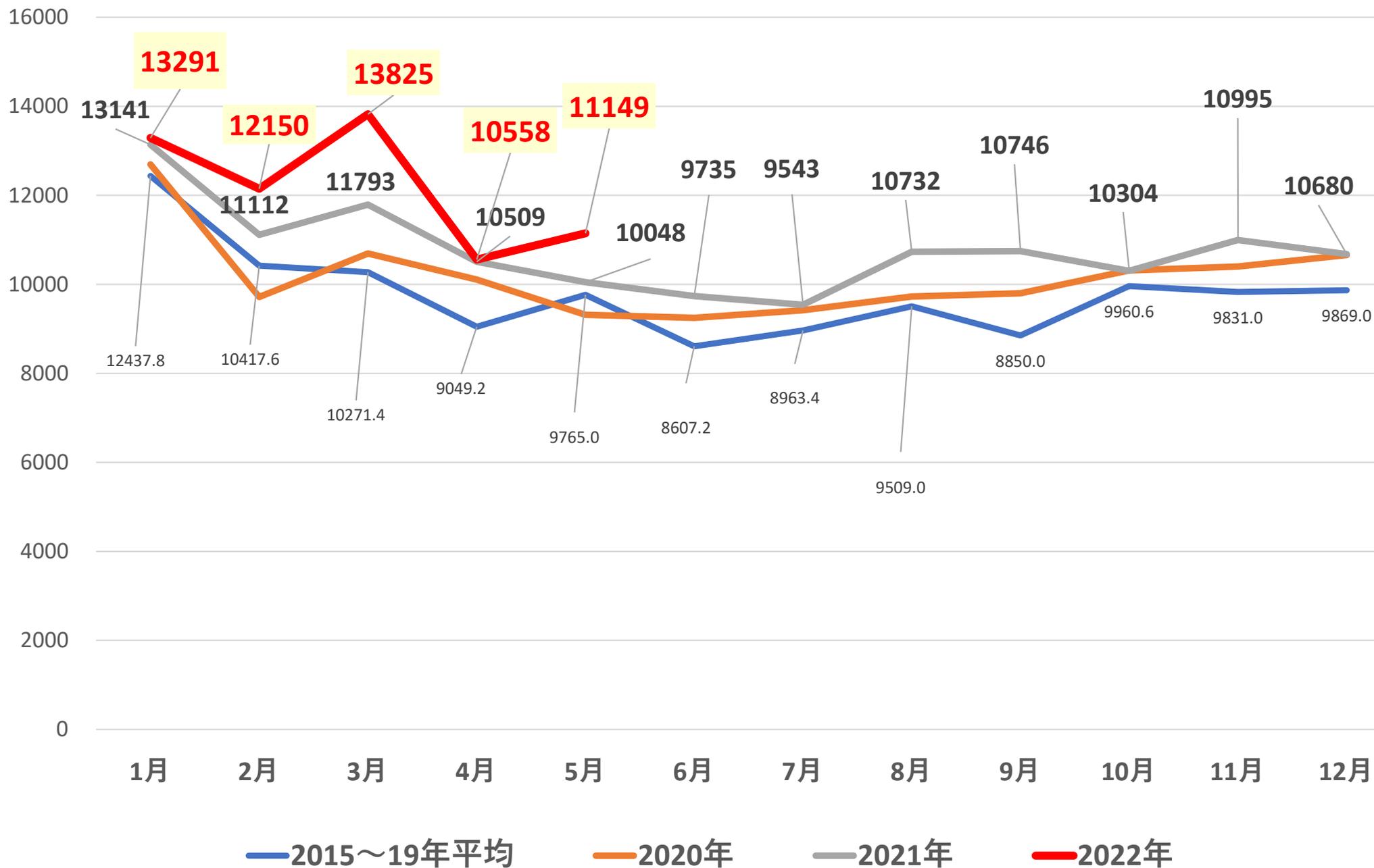
国立感染症研究所ダッシュボードにある「予測死亡数を上回る死亡数」を「超過死亡数」とし、超過死亡率を算定

超過死亡率 =
1ヶ月の超過死亡数 / 1ヶ月の死亡数



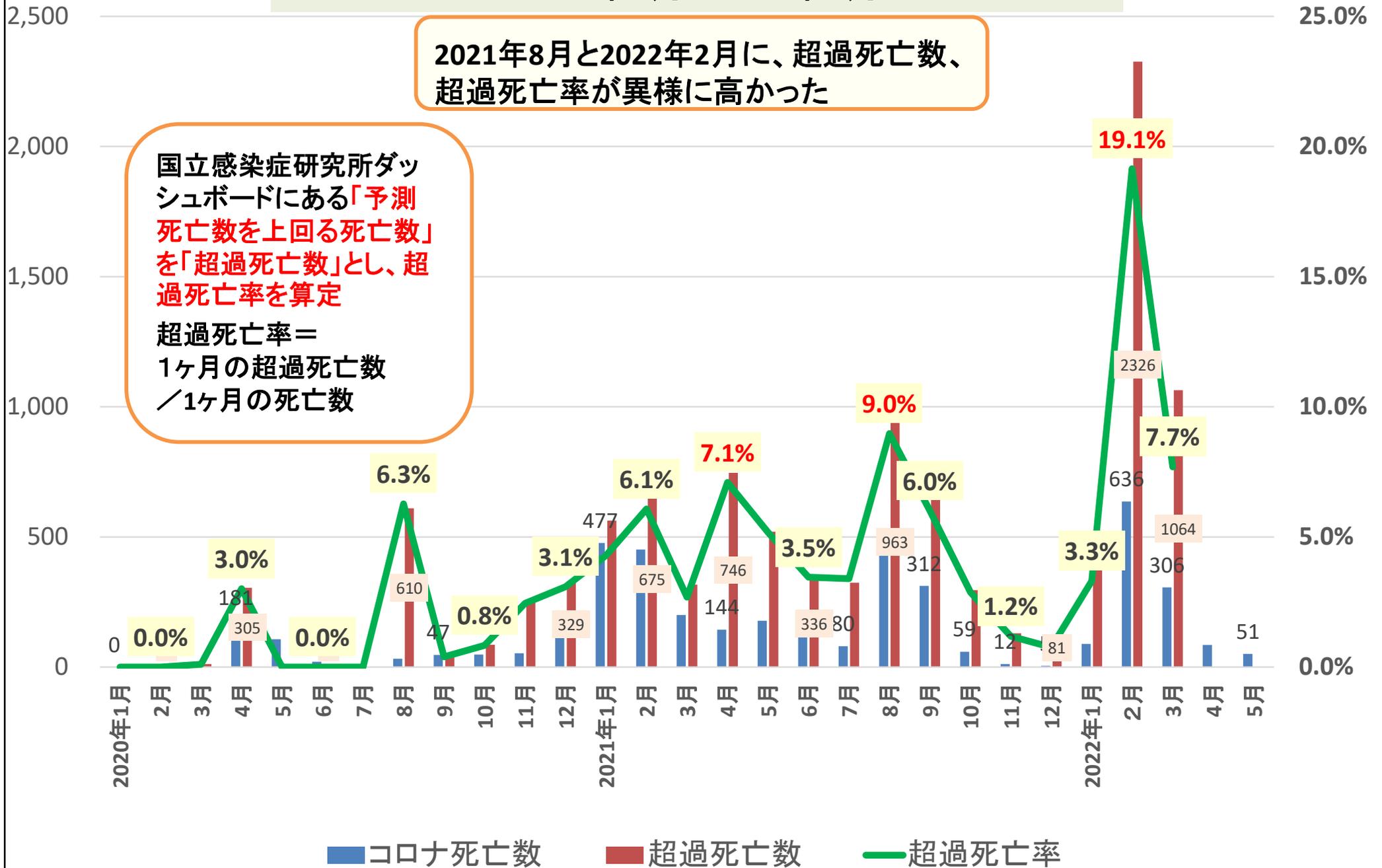
東京都の月別死亡数

2015年～2019年平均 2020年 2021年 2022年



東京都

コロナ死亡数 超過死亡数 超過死亡率 月別推移 2020年1月~2022年4月



超過死亡率の異様な急増は 何が影響しているのだろうか？

超過死亡率の推移

コロナ死亡数 新規感染者数の推移

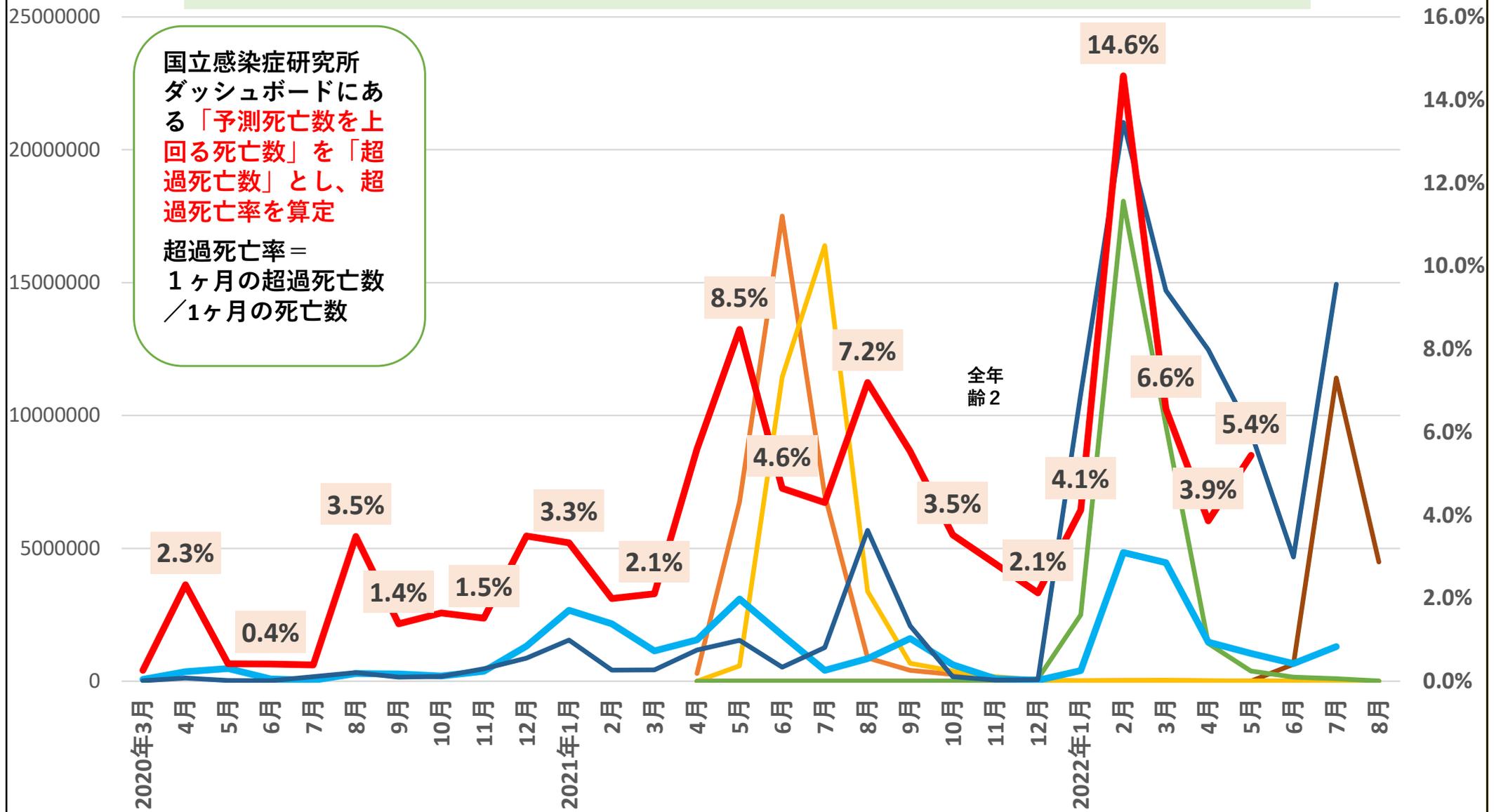
高齢者ワクチン接種者数の推移

超過死亡率と

コロナ死亡数 × 1000 新規感染者数 × 10 高齢者ワクチン接種者数

国立感染症研究所
ダッシュボードにある「予測死亡数を上回る死亡数」を「超過死亡数」とし、超過死亡率を算定

超過死亡率 =
1ヶ月の超過死亡数
／1ヶ月の死亡数



- 高齢者第4回接種
- 高齢者第1回接種
- 高齢者第2回接種
- 高齢者第3回接種
- コロナ死亡数 × 1000
- 新規感染者数 × 10
- 超過死亡率

コロナ流行下

子どもたちが重大な影響を被っていた

「コロナ禍が子どもたちの脳と心に及ぼす影響」

明和政子教授（京都大学教育学科研究科）の指摘が重要

「コロナ禍が子どもたちの脳と心に及ぼす影響」 （時事通信2022/1/31）

<https://www.jiji.com/jc/v4?id=2110myowa0001>

「コロナ禍におけるマスク着用と子どもたちの育ち」

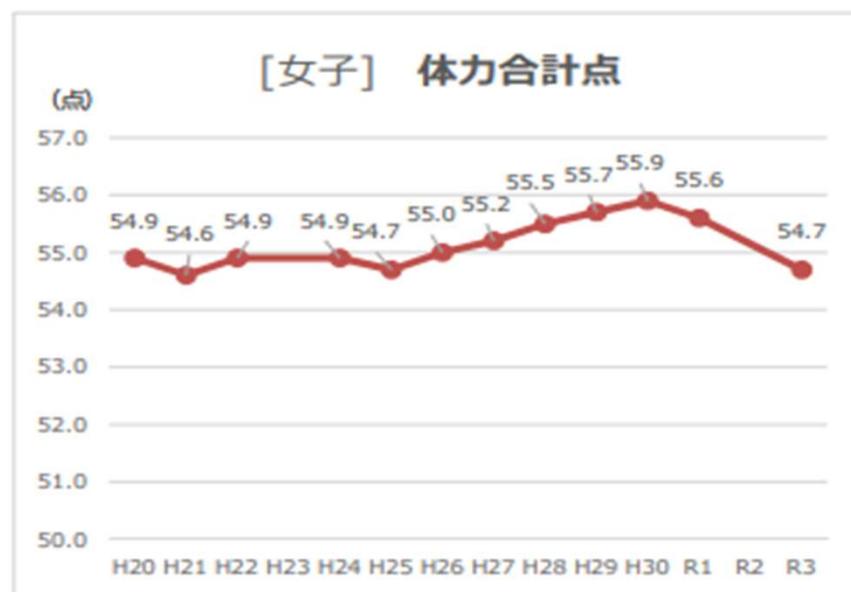
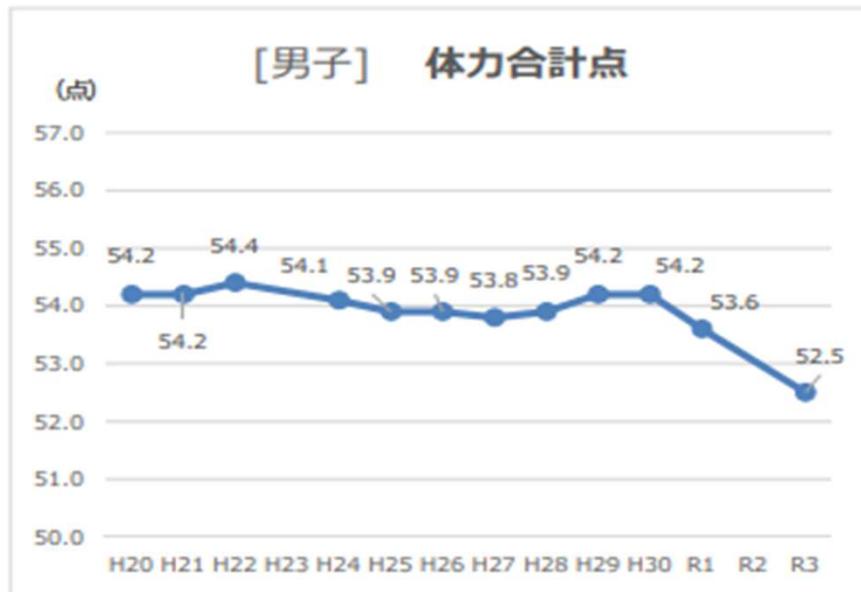
<https://www.harenohi-hoikuen.com/2021/07/2012/>

など

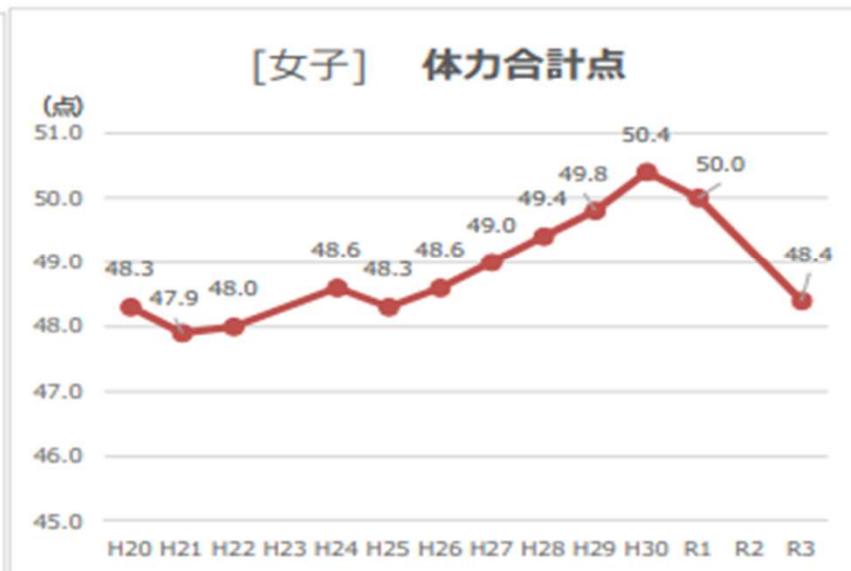
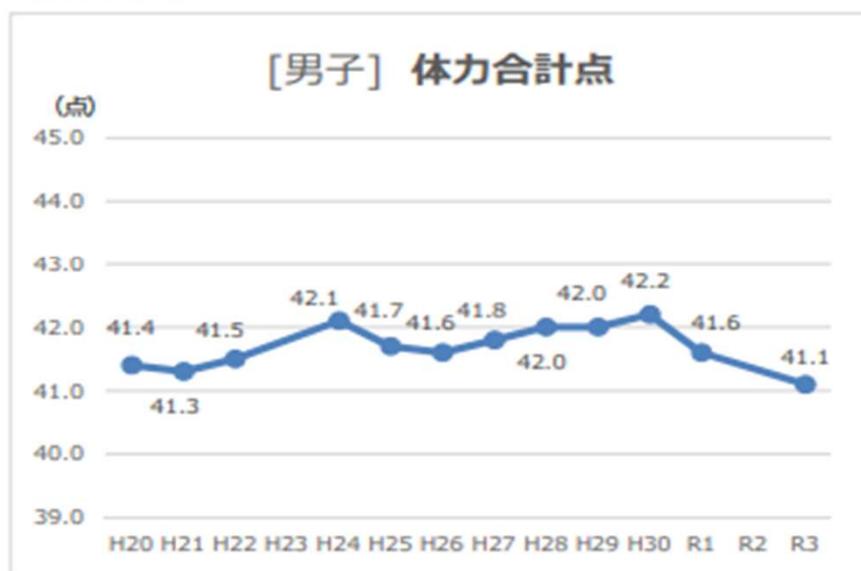
子どもの体力・運動能力が著しく低下（1）

「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（概要）について」令和3年12月スポーツ庁

（小学生）

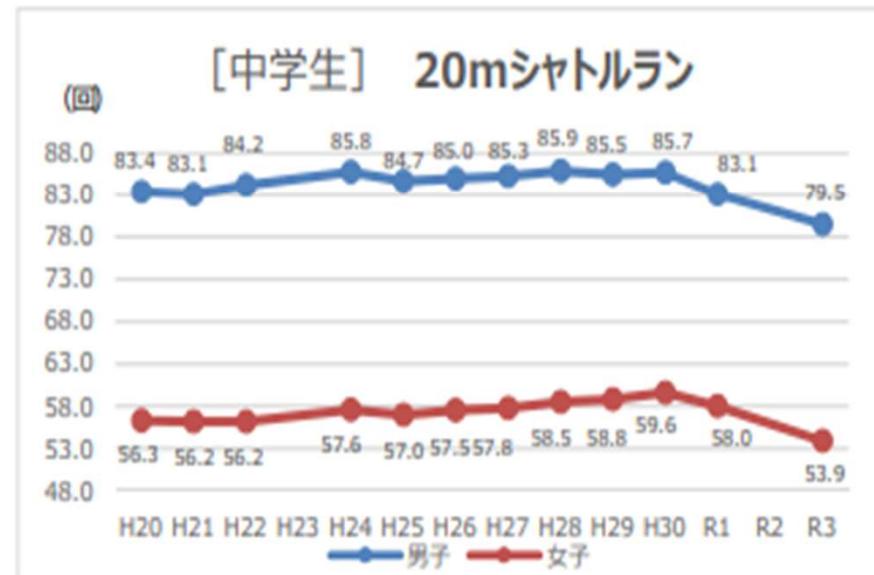
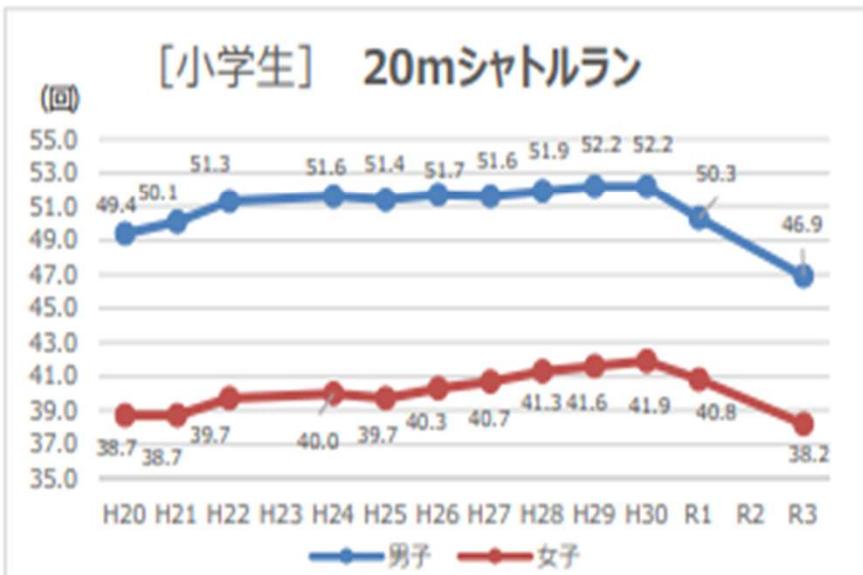
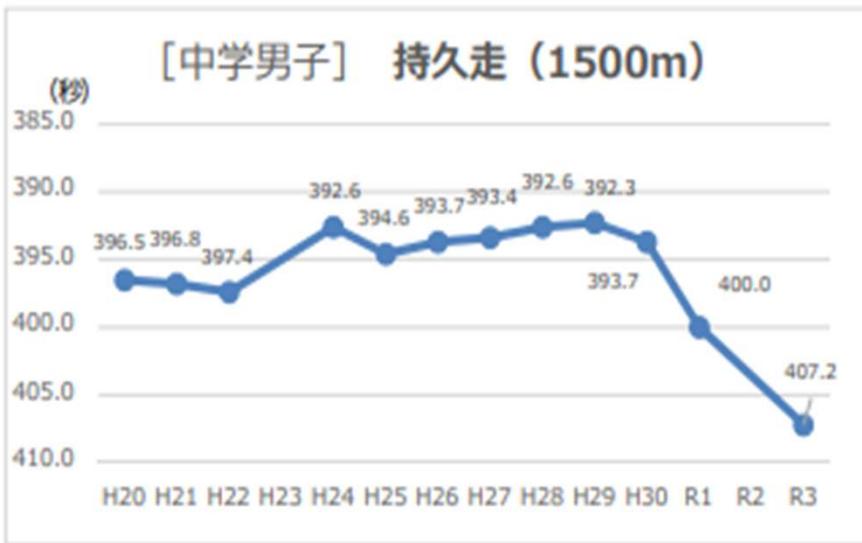


（中学生）



子どもの体力・運動能力が著しく低下（2）

「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（概要）について」令和3年12月スポーツ庁



影響が残らないか、大変に懸念される

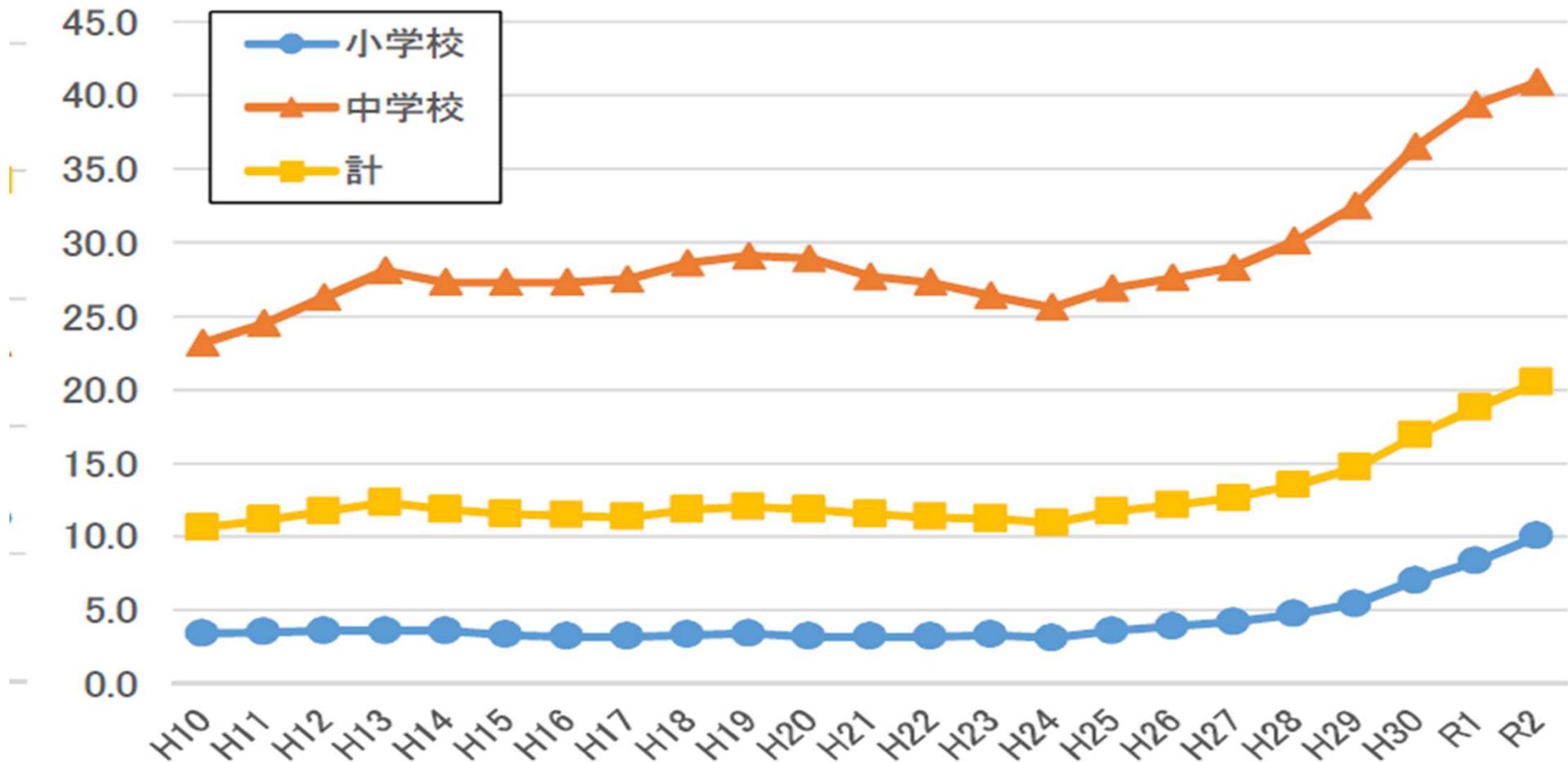
令和2年

コロナ流行下、オンライン授業の時期もあったが、 不登校児童生徒数は増加した

(人)

不登校児童生徒数の推移

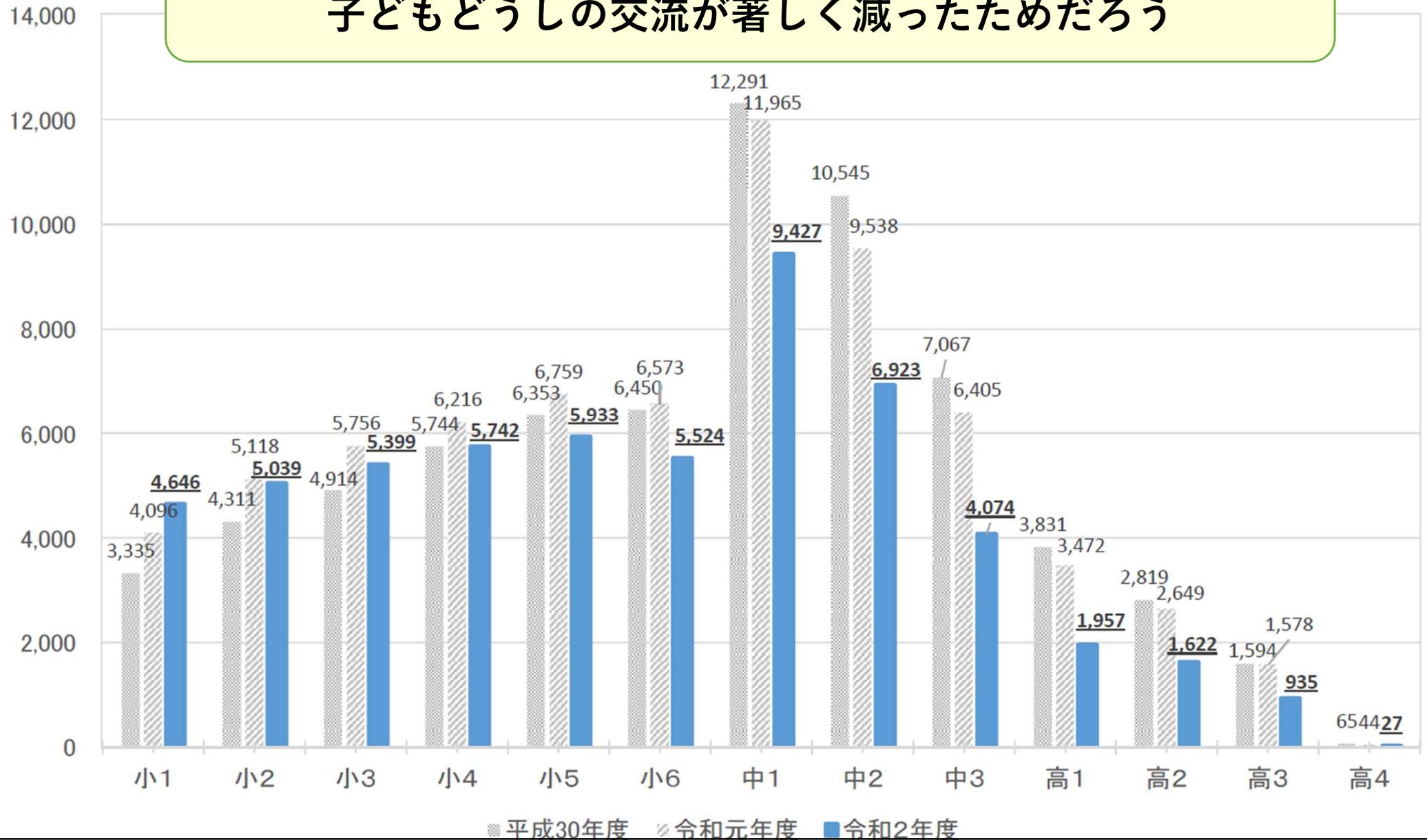
(1,000人当たりの不登校児童生徒数)



子どもの暴力行為の状況

学年別加害児童生徒数

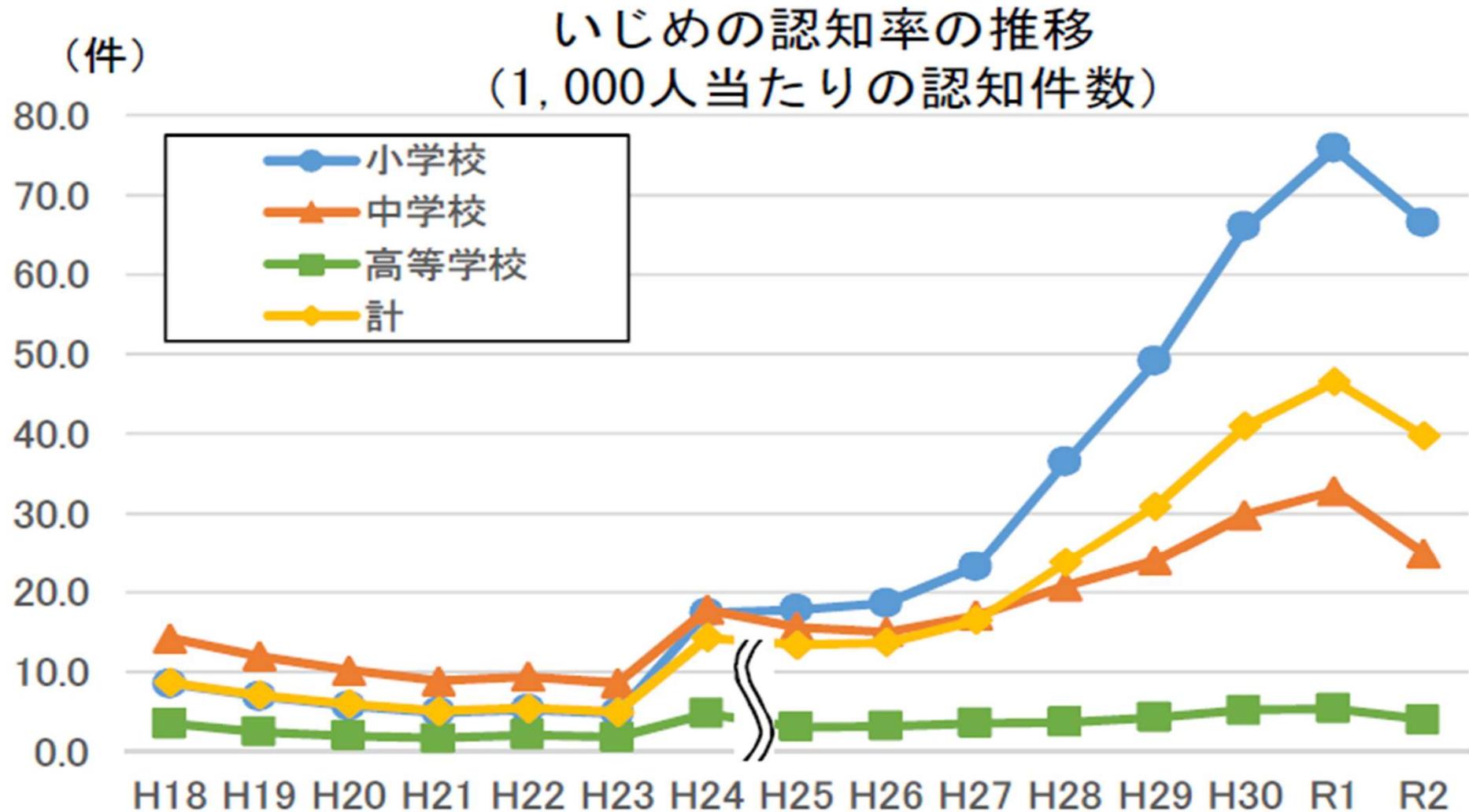
コロナ流行下、子どもの暴力行為が顕著に減った
子どもどうしの交流が著しく減ったためだろう



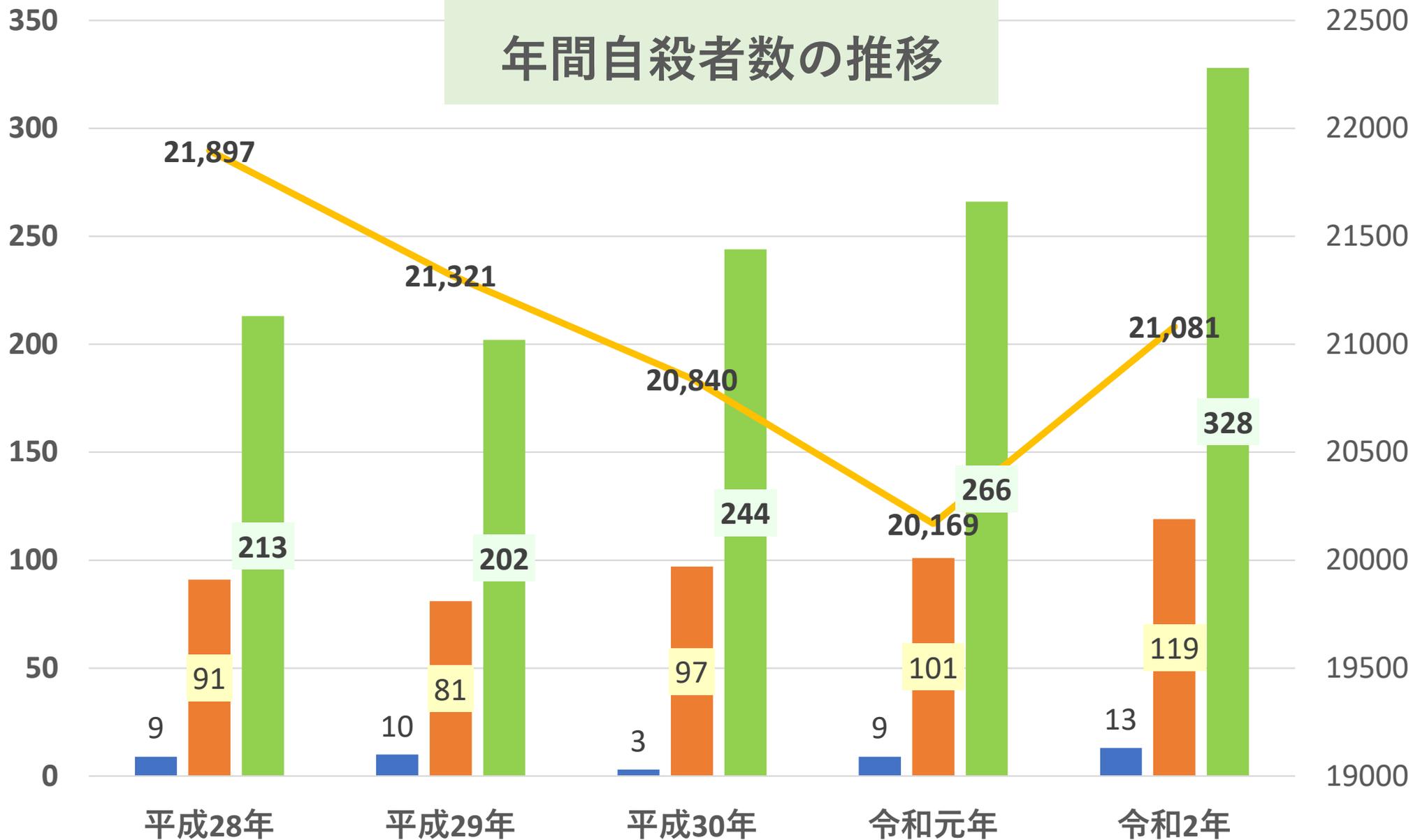
令和2年

コロナ流行下、いじめ認知率は急減

人流抑制とオンライン授業で
子どもたちの交流が著しく減ったためだろう



小学生 中学生 高校生 年間自殺者数の推移



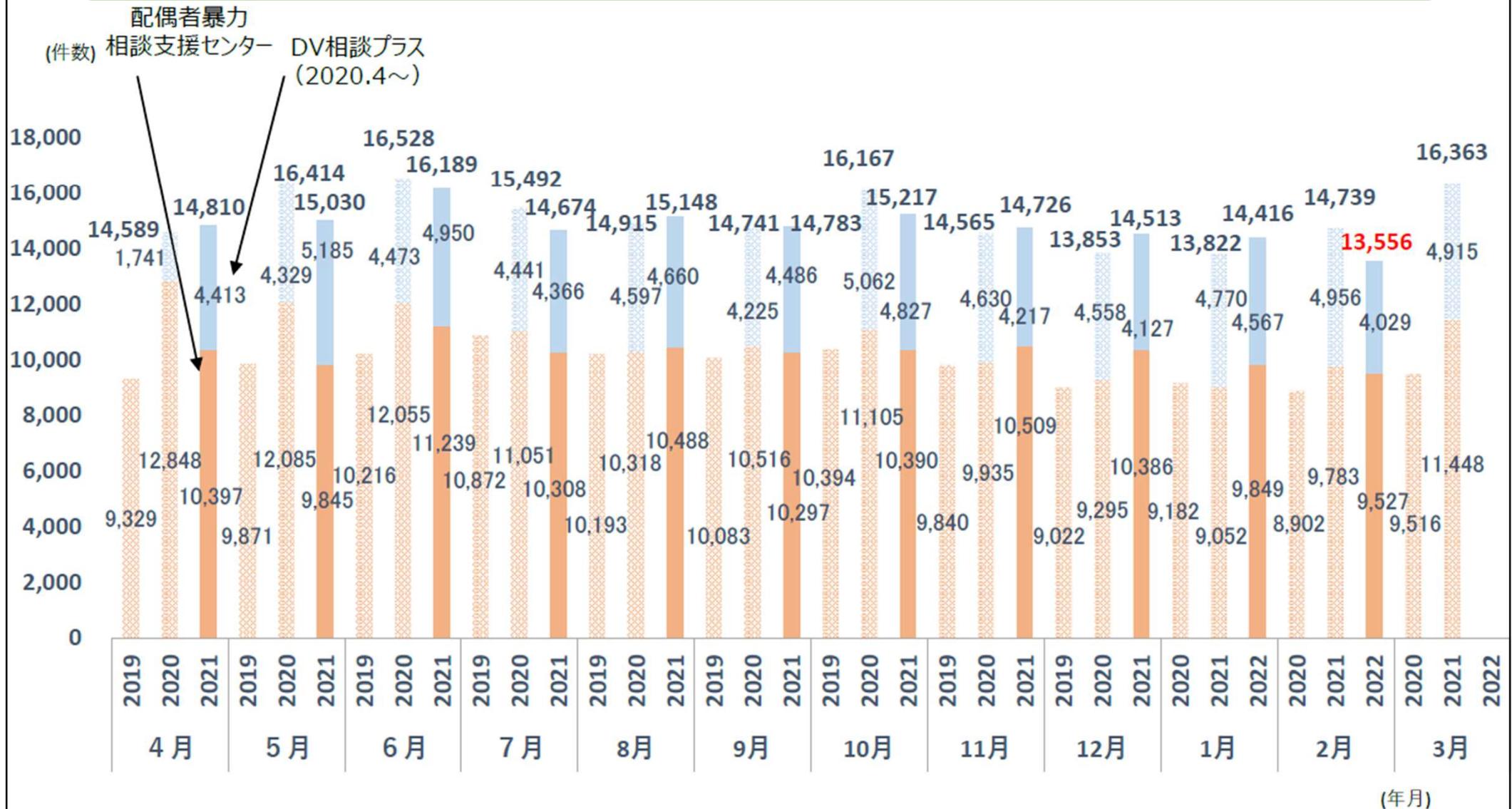
■小学生 ■中学生 ■高校生 —全年齢

家庭の中で起きていたこと

DV相談件数の推移

(内閣府男女共同参画局)

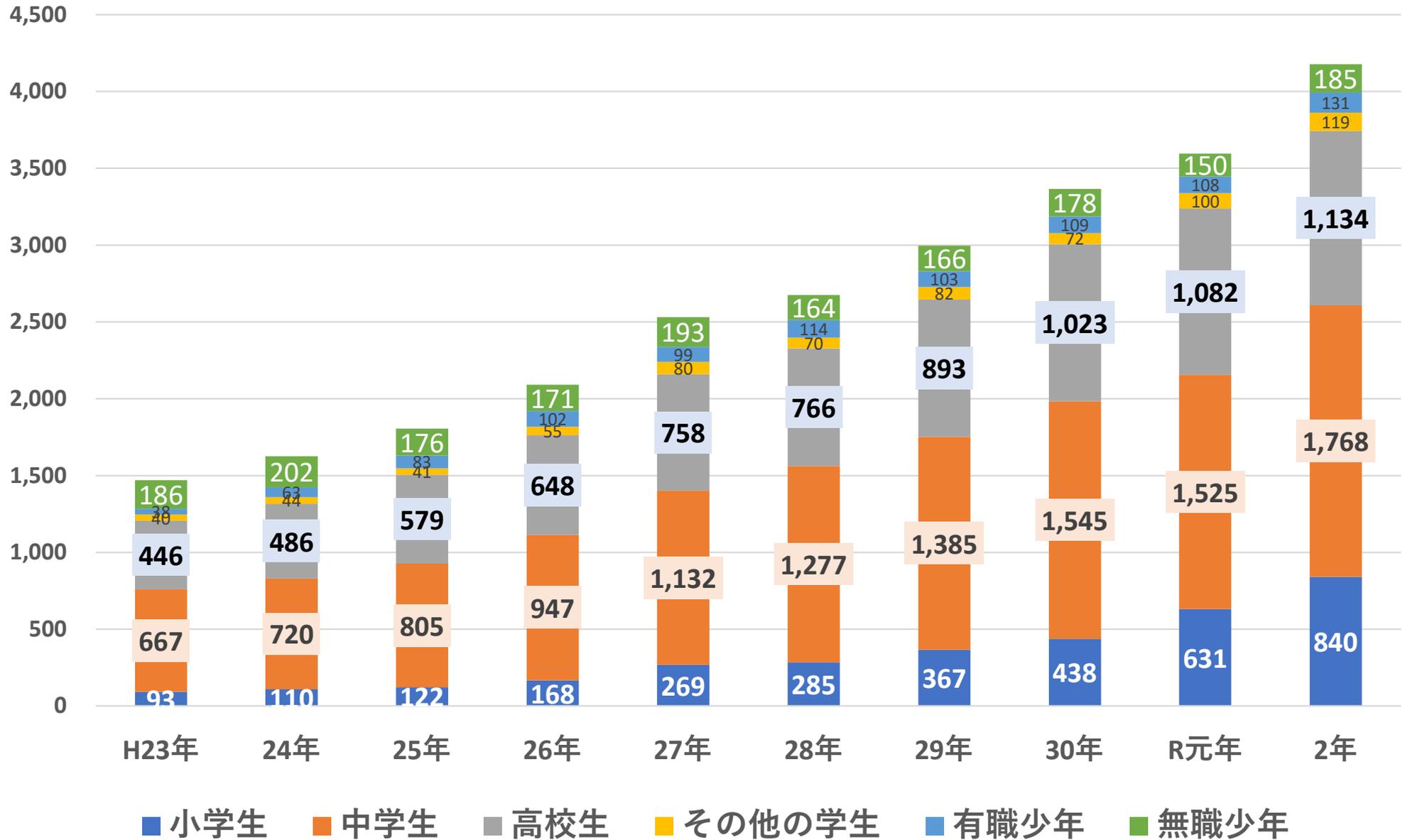
2020年度の相談件数は 182,188件、2019年度の約1.5倍
 2021年度の相談件数は、2020年度とほぼ同数



子どもの家庭内暴力

家庭内暴力事案の学職別推移

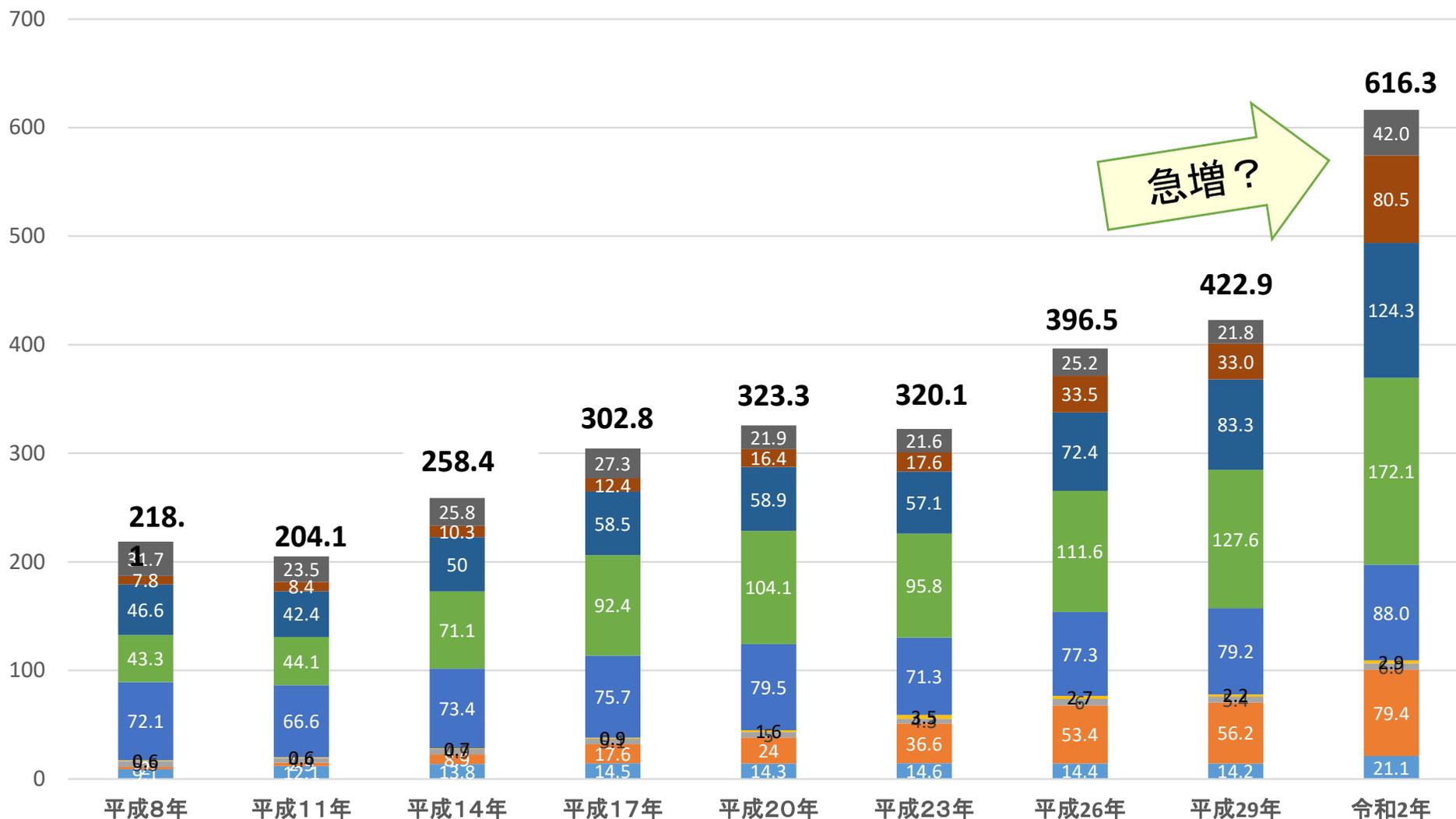
警察庁；令和2年における少年の補導及び保護の概況より



精神科医療で起きていたこと

精神障害者の数 年次推移

厚労省「患者調査」より



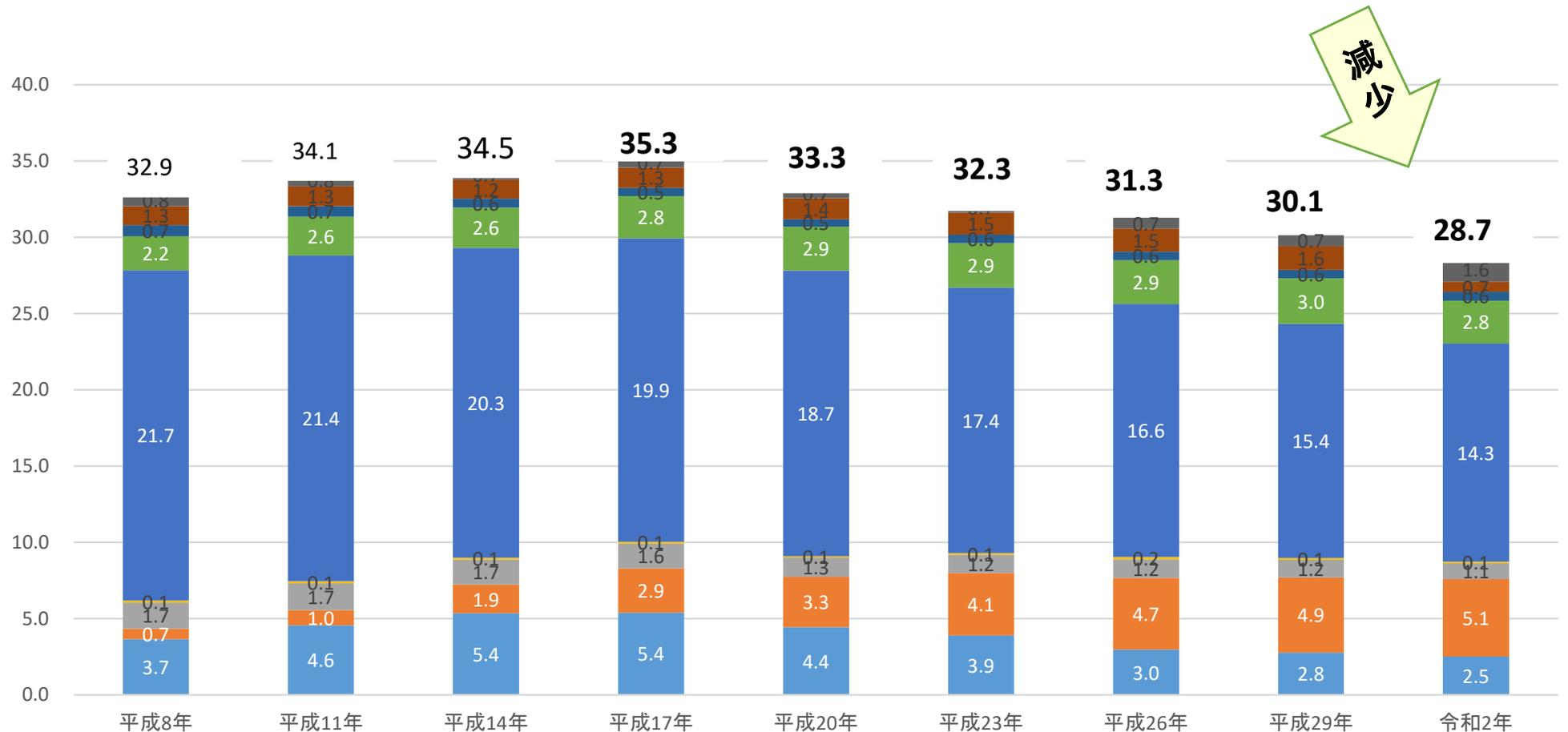
急増?

- 血管性及び詳細不明の認知症
- アルツハイマー病
- アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害
- その他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害
- 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害
- 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
- 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害
- その他の精神及び行動の障害
- てんかん

精神障害による推計入院数

年次推移

厚労省「患者調査」より 各年10月



- 血管性及び詳細不明の認知症
- アルツハイマー病
- アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害
- その他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害
- 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害
- 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
- 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害
- その他の精神及び行動の障害
- てんかん